「弾く、聴く、読む」クラシックギター愛好家のために
ギタードリーム

Guitar dream

NO. 12
AUG-SEP 2008

本号より増ページ

掲載楽譜収録!!
CD付

今月の楽譜
- ジョビン／イパネマの娘
- ガーシュイン／サマータイム
- タレガ／エンデチャ、オレムス
- 熊本民謡／五つ木の子守歌（新12の歌より）
- 佐藤弘和／SUMMER
- メルツ／恋人の墓の前にて
- テイラー／早朝の旅立ち
- チャイコフスキー／アンダンテ・カンタービレ
- 二橋潤一／「フレール・ジャック」変奏曲
- 服部良一／東京ブギウギ

高田元太郎
GENTARO TAKADA

新連載！
音楽の正しい理解と表現のために
非和声音のしくみ

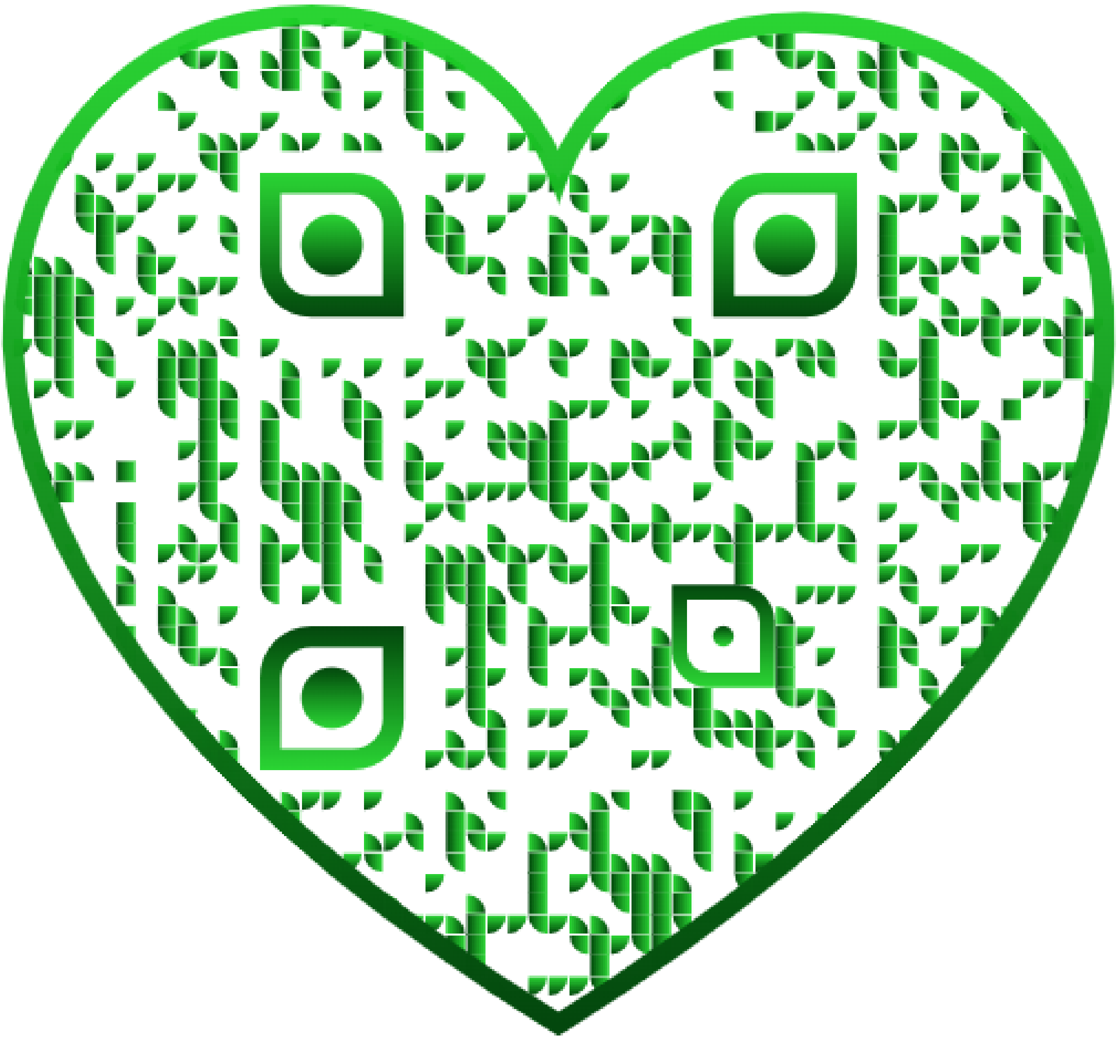
GD コンペティション
作曲者による課題曲解説

レポート
茨木クラシックギターフェスティバル

話題のアーティスト
ソウル・ギターカルテット

クラブ・マリアデュオ「今日も元気、ギターが楽しい」
中川信隆

HOMA dream



CD 収録曲目一覧

TOTAL: 70'42

Title	Composer / Arranger	No.	Time	曲名	作曲・編曲
Garota de Ipanema	**Antonio Carlos Jobim - Noriyasu Takeuchi**	**1**	03'41	イパネマの娘	**ジョビン〈竹内永和・編曲〉**
Summertime	**George Gershwin - Noriyasu Takeuchi**	**2**	03'02	サマータイム	**ガーシュイン〈竹内永和・編曲〉**
Amaryllis Variations (formal variations)	**Hirokazu Sato**	**3**	01'53	アマリリス変奏曲（音型変奏）	**佐藤弘和**
Amaryllis Variations (character variations)	**Hirokazu Sato**	**4**	02'34	アマリリス変奏曲（性格変奏）	**佐藤弘和**
Amaryllis Valse (7th variation)	**Hirokazu Sato**	**5**	01'15	アマリリス・ワルツ（第 7 変奏）	**佐藤弘和**
The Last Rose of Summer op.125-2	**Mauro Giuliani**	**6**	03'54	庭の千草 op.125-2	**ジュリアーニ**
Lullaby of Itsuki	**Japanese Folksong - Ippo Tsuboi**	**7**	04'19	五つ木の子守歌	**熊本民謡〈壺井一歩・編曲〉**
SUMMER	**Hirokazu Sato**	**8**	04'31	SUMMER	**佐藤弘和**
Endecha	**F. Tarrega**	**9**	00'57	エンデチャ	**タレガ**
Oremus	**F. Tarrega**	**10**	00'47	オレムス	**タレガ**
No.15 from 24 Leçons of Method op.27	**F. Carulli**	**11**	01'46	24 のデュエットより第 15 番（ギター教則本 op.27 より）	**カルッリ**
Am Grabe der Geliebten (Näinen. Trauerlieder)	**J.K. Mertz**	**12**	05'39	恋人の墓の前にて	**メルツ**
Variations sur chanson populaire Français	**Jun-ichi Nihashi**	**13**	01'41	「フレール・ジャック」変奏曲（第 2、第 3 変奏）	**二橋潤一**
Andante Cantabile	**P.I. Tchaikovsky -Ippo Tsuboi**	**14**	06'03	アンダンテ・カンタービレ	**チャイコフスキー〈壺井一歩・編曲〉**
Tokyo Boogie Woogie	**Ryoichi Hattori - Nobuyuki Hirakura**	**15**	02'49	東京ブギウギ	**服部良一〈平倉信行・編曲〉**
Getting Here	**Jason R. Taylor**			Getting Here	**ジェイソン・テイラー**
I. Early Morning Departure		**16**	02'43	1. 早朝の旅立ち	
II. Over the Water		**17**	02'12	2. 海を越えて	
III. A Possible, but most likely imaginated Tribal Dance		**18**	01'33	3. 空想上の部族の踊り	
IV. Here		**19**	02'24	4. Here	
Lo Que Vendra	**Astor Piazzolla - Shiki Nagashima**	**20**	03'55	来たるべきもの	**ピアソラ〈永島志基・編曲〉**
Cancion de Cuna	**Leo Brouwer**	**21**	03'25	キューバの子守歌	**ブローウェル　演奏：高田元太郎（2003 年 11 月 18 日ライブ録音）**
Suite de mi Jardin	**Ariel Asselborn**			小動物の組曲	**アリエル・アッセルボーン**　〃
1. El Gato Ciego		**22**	02'05	1. 盲目の猫	〃
2. Milonga de los Peces		**23**	03'35	2. 魚たちのミロンガ	〃
3. Sapitos		**24**	03'14	3. かえる	〃

Player (Guitar) :

Noriyasu Takeuchi (V. Bedikian 1979) **1, 2**
Hirokazu Sato (M. Nobe 2000) **3-6, 8, 11**
Hirokazu Sato (M. Nobe Terz 1998) **12**
Sachiko Miyashita (M. Barbero Hijo 1995) **7**
Koichi Kezuka (I. Fleta 1961) **9-14**
Nobuyuki Hirakura (M. Lopez 2004) **15**
Yoshio Nomura (I. Fleta 1972) **16-19**
Jason R. Taylor (S.Schlemper 1994) **16-19**
Yokosuka Guitar Ensemble **20**
Gentaro Takada (Y. Imai 1991) **21-24**
[Live recording on 18 Nov. 2003]

演奏者 (使用ギター) :

竹内永和 (V. ベディキアン 1979) **1, 2**
佐藤弘和 (野辺正二 2000) **3-6, 8,**
佐藤弘和 (野辺正二テルツ 1998) **12**
宮下祥子 (M. バルベロ・イーホ 1995) **7**
毛塚功一 (I. フレタ 1961) **9-14**
平倉信行 (M. ロペス 2004) **15**
野村芳生 (I. フレタ 1972) **16-19**
ジェイソン・テイラー (S. シュレンパー 1994) **16-19**
横須賀ギターアンサンブル **20**
高田元太郎 (今井勇一 1991) **21-24**

広告インデックス

ギターショップ・アウラ…… 口絵 3
IGP ………………………… p.47
今井勇一…………………… p.48
Ut Orpheus Edizioni ………… p.31
Editions Orphee ……………… p.48
La Guitarreria ………… p.30
キング・インターナショナル………… 表 4
下森佳津美ピアノリサイタル … 表 3
黒澤楽器店…………………… 口絵 1
黒澤澄夫・哲郎………………… p.48
ジーアンドエム ……………… p.31
Chanterelle Verlag………… p.17
庄司清英……………………… p.17
ショップ松下＆ギター教室 p.31
Musikverlag Doblinger……… p.48
宮下祥子……………………… p.31
ミューズ音楽館 ……………… p.31
ムジークゾリステン ……… p.17
メディアカーム …………… p.48
山下暁彦……………………… p.31
吉住和宏……………………… p.48
りとるかりん ………………… p.58

次号の発売日は

2008年10月6日〈月〉です。

ギタードリームは全国有名楽器店、ギター専門店でお買い求めできます。
書店では取り扱っていません。入手が難しい場合は弊社から直接購入することができます。
右記弊社住所、Fax により申し込むか、弊社ホームページから申し込んでください。

Guitardream

ギタードリーム No.12 2008 年 8/9 月号
2008 年 8 月 5 日 (第 3 巻第 4 号) 定価 1,470 円 (税込み)
ISBN978-4-86247-712-5 JAN4560184087120

編集・発行人: 菅原 潤
発行所: 株式会社ホマドリーム
〒171-0021 東京都豊島区西池袋 5-21-6-101
TEL: (03)6303-6151 FAX: (03)5951-3555
E-mail: info@homadream.com
URL: www.homadream.com
印刷・製本: 株式会社 平河工業社
表紙・紙面デザイン: サトウデザイン室
写真: tama
楽譜浄書: 神野浄書技研、菅原 潤
音源録音・編集: 毛塚功一

(C) 無断転載、複製を禁ず JASRAC 0809385-801
(C) 2008 by HOMA dream Inc. Tokyo. All Rights Reserved. Printed in Japan.

Cool Arrangements by Noriyasu Takeuchi

12 竹内永和のクール・アレンジメンツ

東京都生まれ。早稲田大学文学部卒業。1980年、第7回ギターコンクール第1位。1982年、第25回東京国際ギターコンクール第3位。レオ・ブローウェル、オスカー・ギリアのマスタークラスに参加し研鑽を積みコンサート活動を開始。アレンジャーとしても、現代ギター誌に連載を始め、スウェーデンのギタリスト、セルシェルの2枚のビートルズ・アルバムにアレンジを提供（ドイツ・グラモフォンよりワールド・リリース）。下森佳津美とのデュオ・シルフィードでの活動の他、ヴァイオリン、フルート、コントラバス等との共演多数。これまでにギターを故石月一匡、竹藤嘉の各氏に師事。

イパネマの娘

ボサノバを代表する名曲として広く知られる、ジョビンの作品。

アントニオ・カルロス・ジョビン（1927-1994）は、リオデジャネイロに生まれ、1950年代に詩人で外交官のヴィニシウス・ヂ・モライスらと映画「黒いオルフェ」の音楽を担当（原作はヴィニシウスで、映画冒頭の《フェリシダージ》はヴィニシウスとジョビンのコンビによる作品）。

58年にはジョアン・ジルベルトのレコードデビューに一役買って、名作《想いあふれて》の大ヒットを送り出し、ボサノバ誕生の仕掛け人となった。62年、ヴィニシウスとのコンビで《イパネマの娘》を発表。そしてカーネギーホールでのボサノバコンサートのため渡米。

その後、米国でのアルバム制作を経て、自作の英語詩ヴァージョン作りに励み、67年にはフランク・シナトラとの共演アルバムを発表した。

日本には86年に1度訪れて、日比谷の野外音楽堂などでコンサートを開いた。この唯一の来日コンサートを聴けた方は大変ラッキーだったというほかない。

野音の模様はテレビ中継もあったので、ファミリーバンドを率いて、終始上機嫌だったジョビンの姿を覚えてらっしゃる方も多いことであろう。

名曲《イパネマの娘》誕生に関しては、有名なエピソードが語り継がれている。すなわち、リオ南部のイパネマ地区にあるバールで飲んでいたヴィニシウスとジョビンが、その店で出会った美女（エロイーザ）の美しさにインスピレーションを得てこの作品が生まれた、というものだ。店の名前は、ヴェローゾ。ギターの名手バーデン・パウエルが<ヴェローゾのサンバ>という曲を捧げている店。この店は、現在その名もガロータ・ヂ・イパネマすなわち、イパネマの娘、として営業している。生ビールの美味しい店として人気が高く、観光客がよく訪れ、ボサノバ名曲誕生の地の空気を満喫して帰っていくという。

サマータイム

ガーシュイン作曲の名歌曲で、スタンダードソングとしても今だに高い人気を誇っている。

ジョージ・ガーシュイン（1898-1937）は、クラシックとジャズの語法を融合させ、独特の作風を築いたアメリカの国民的作曲家。ニューヨークのティンパンアレーで楽譜の販売促進のためのピアノ弾きをしていたエピソードなどは、 伝記映画「アメリカ交響楽」などでもよく知られているもの。

1917年に作曲した《スワニー》の大ヒット（1919年にアル・ジョルソンのレビューで空前の大当たり）でポピュラー音楽作曲家としての地位を確立し、続いて1924年の《ラプソディー・イン・ブルー》の大成功で、クラシック界にも一躍その名を知られることとなった。ポール・ホワイトマンの依頼によって書かれたこの作品は、ジャズのイディオムとクラシックのコンチェルト形式をうまく融合させて、大変な評判となり一世を風靡。グローフェの効果的な編曲を得て、ジャズ版、オーケストラ版ともに根強い人気を誇る。

また28年にはパリへ旅行し、その時の印象を曲にまとめた《パリのアメリカ人》もミュージカル映画化され（ジーン・ケリー、レスリー・キャロン主演）人気を博した。

そんな中で、長年抱いていた本格的オペラ作曲への願いが、ついに実現する。34年に作曲された《ポーギーとベス》がその作品で、南部黒人の暮らしを描いたユニークなオペラである。

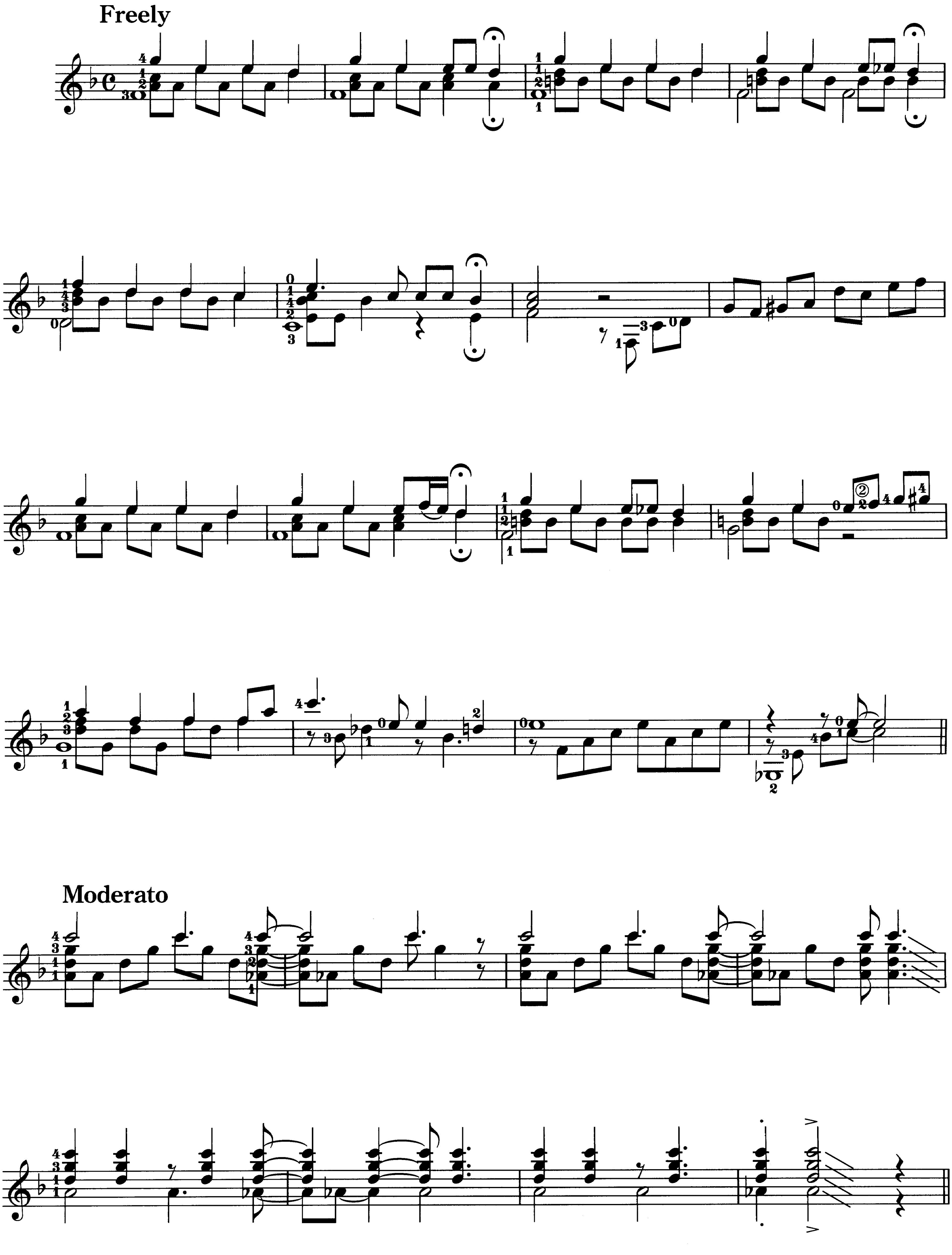
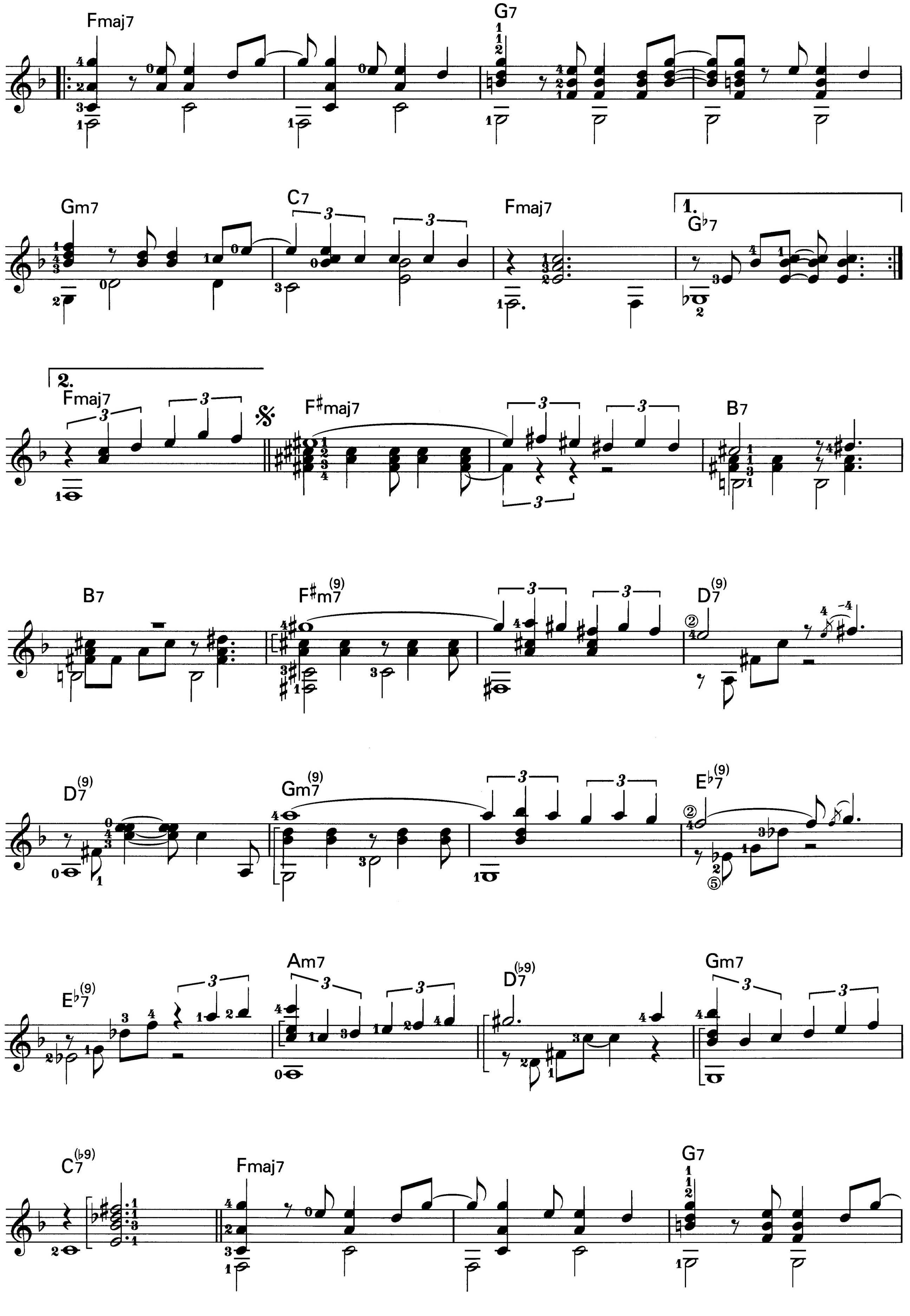
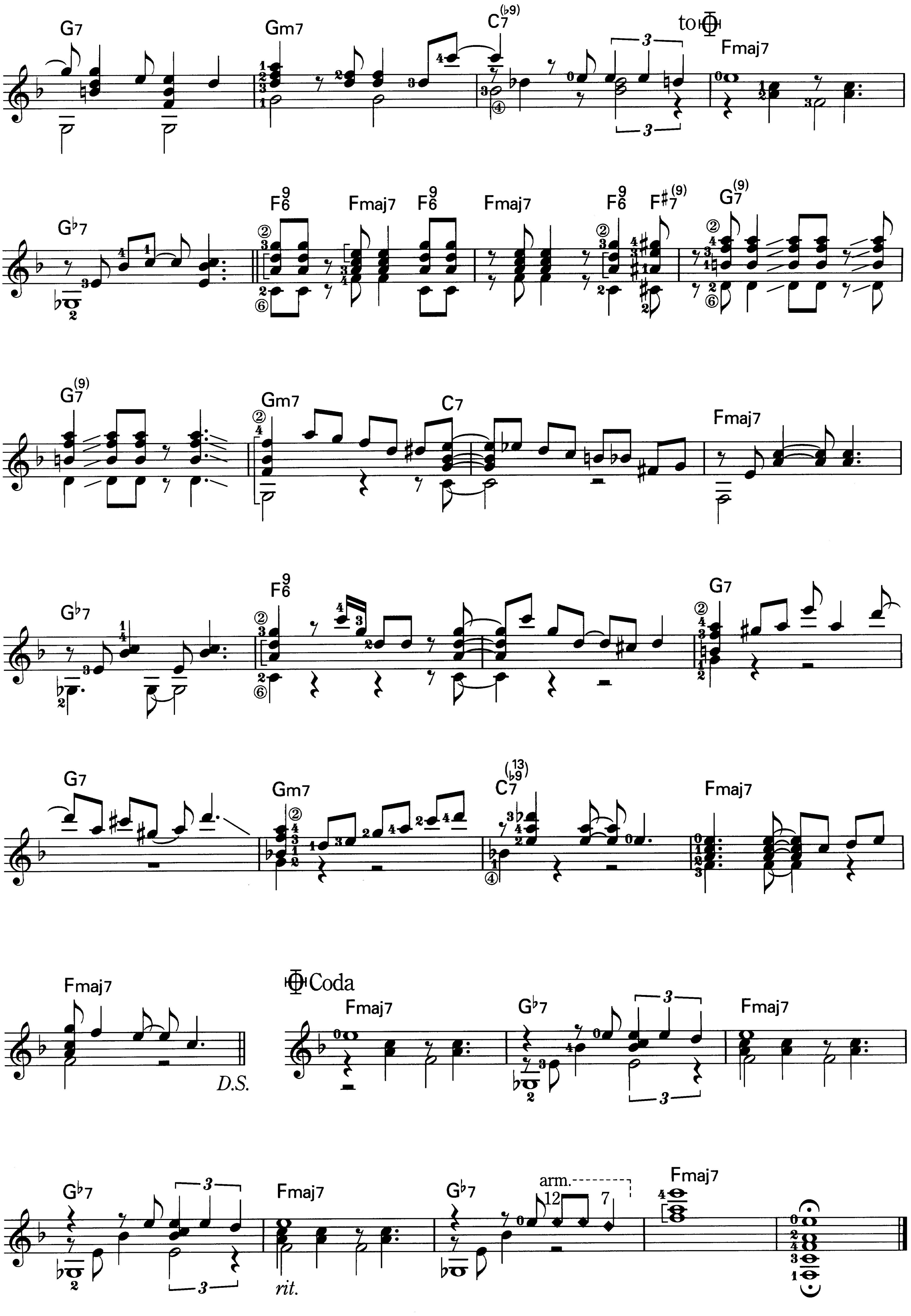
原作は、デュ・ボーズ・ヘイワードのベストセラー小説。3幕9場からなり、1935年にボストンで初演された。配役は、ポーギー（バス）、ならず者の沖仲仕クラウン（バリトン）、クラウンの情婦でポーギーの恋人となるベス（ソプラノ）、麻薬の売人スポーティング・ライフ（テノール）。

《サマータイム》は第1幕でベスによって歌われるアリア。

01 付録CD トラックNo.

Garota de Ipanema

イパネマの娘

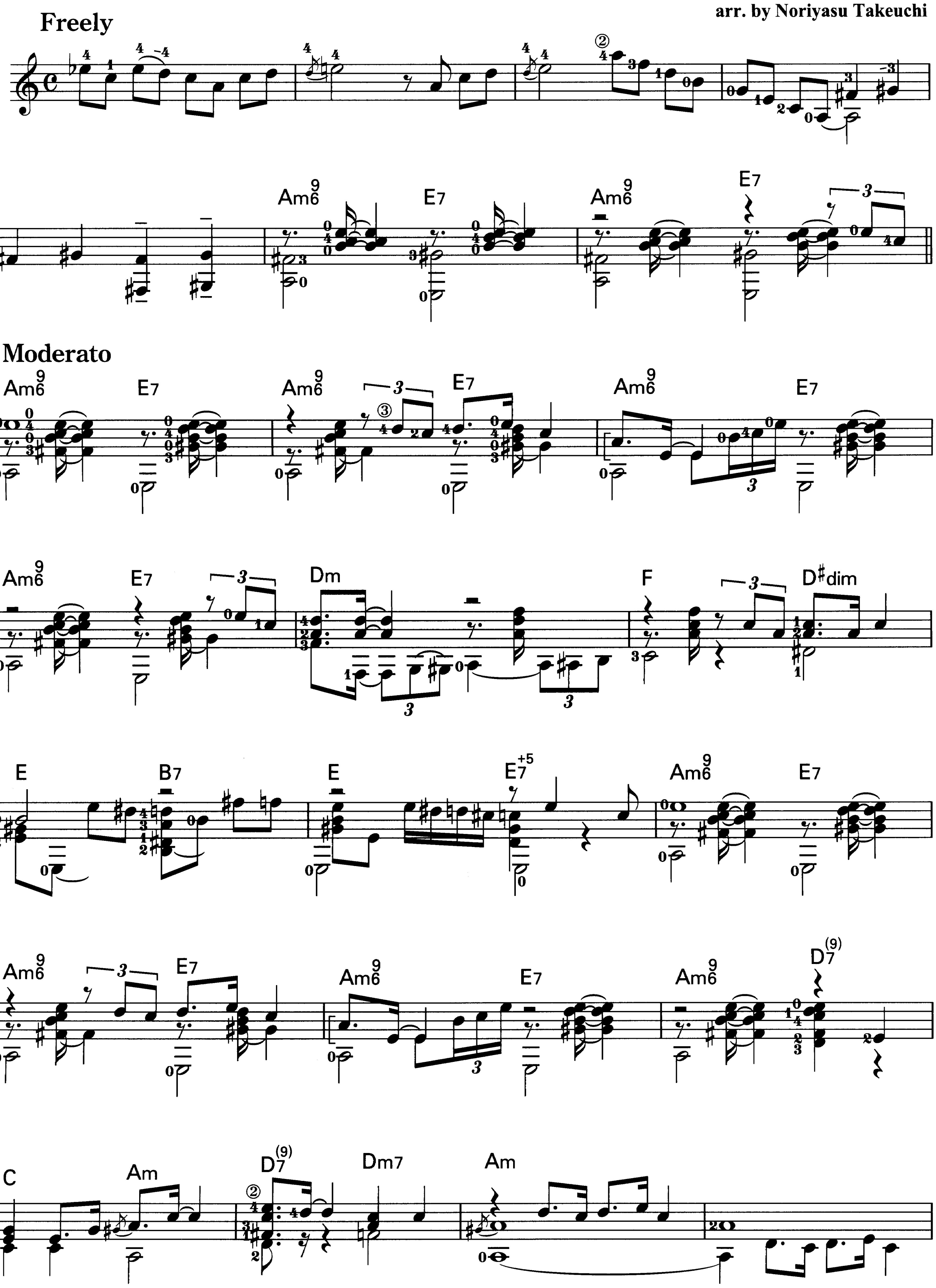
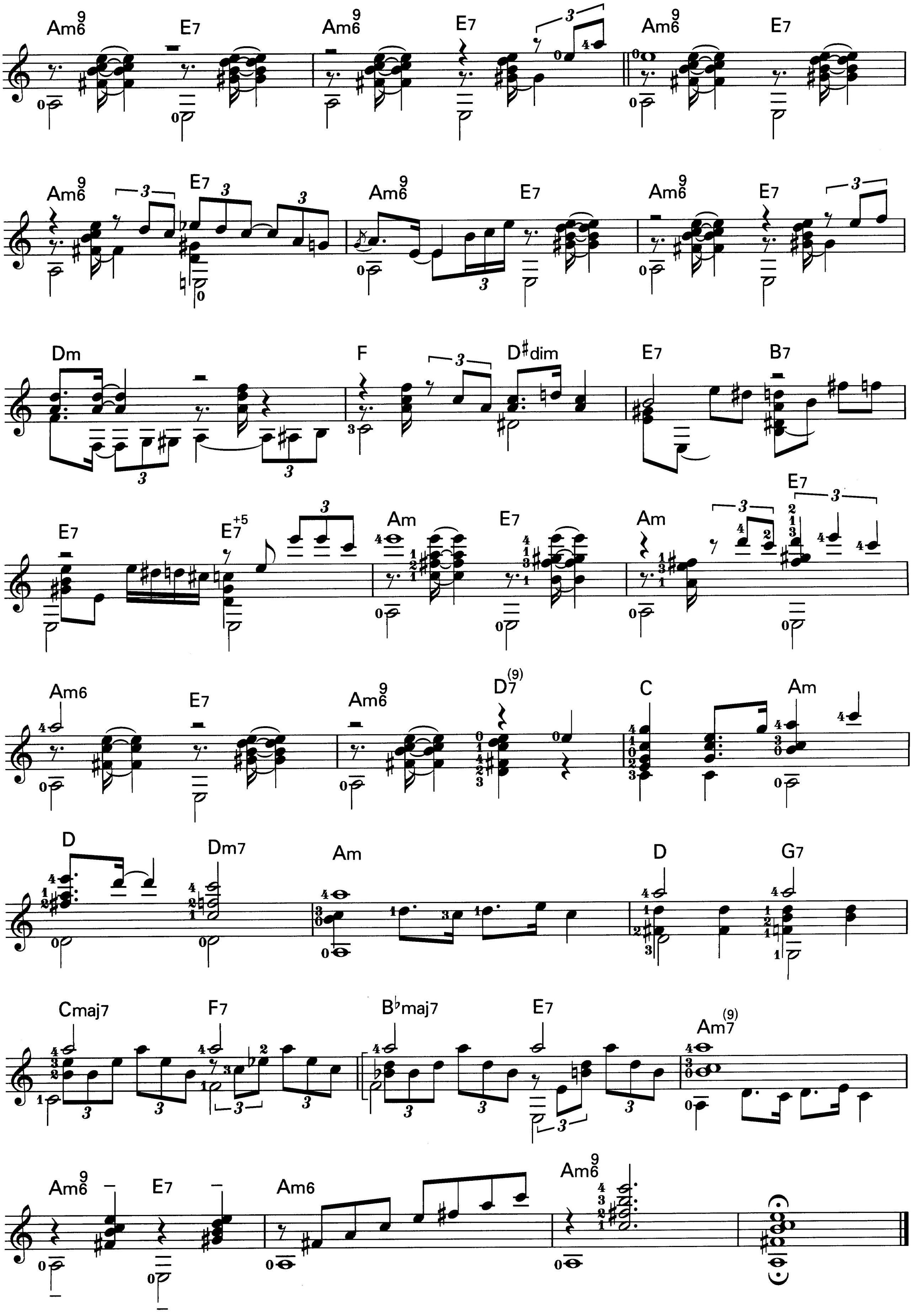
Antonio Carlos Jobim
arr. by Noriyasu Takeuchi

© Copyright 1963 by UNIVERSAL-DUCHESS MUSIC CORPORATION
All Rights Reserved. International Copyright Secured.
Printing right for Japan controlled by K.K. MUSIC SALES.

Fmaj7
G7
Gm7
C7
Fmaj7
1.
G♭7
2.
Fmaj7
F♯maj7
B7
B7
F♯m7(9)
D7(9)
D7(9)
Gm7(9)
E♭7(9)
E♭7(9)
Am7
D7(♭9)
Gm7
C7(♭9)
Fmaj7
G7

G7
Gm7
C7(♭9)
to Coda
Fmaj7
G♭7
F6 9
Fmaj7
F6 9
Fmaj7
F6 9
F♯7(9)
G7(9)
G7(9)
Gm7
C7
Fmaj7
G♭7
F6 9
G7
G7
Gm7
C7(13 ♭9)
Fmaj7
Fmaj7
D.S.
Coda
Fmaj7
G♭7
Fmaj7
G♭7
Fmaj7
rit.
G♭7
arm.
12
7
Fmaj7

02 付録CD トラックNo.

Summertime

サマータイム

George Gershwin

arr. by Noriyasu Takeuchi

Am6 9 E7 Am6 9 E7 Am6 9 E7
Am6 9 E7 Am6 9 E7 Am6 9 E7
Dm F D♯dim E7 B7
E7 E7 +5 Am E7 Am E7
Am6 E7 Am6 9 D7 (9) C Am
D Dm7 Am D G7
Cmaj7 F7 B♭maj7 E7 Am7 (9)
Am6 9 E7 Am6 Am6 9

21世紀のギター教本

New Guitar Method for 21st century by Hirokazu Sato

新しいメソッドを求めて

佐藤弘和

1966年、青森県弘前市生まれ。弘前大学教育学部音楽科卒業。ピアノ、作曲等を学ぶ。ギターを渡辺範彦、永島志基、各氏に師事。90年新人賞選考演奏会で第2位入賞。同年、自作曲がPTNAヤングピアニスト・コンベンションの課題曲に採用される。91年、デビューリサイタル。現在、教授、演奏、編曲、作曲で活動。

いよいよこの連載も今回が最終回。というのも今から種を明かすと…この後、応用編とも言える「12のエチュード」（仮）シリーズがスタートするからです。テクニック中心のメソッド編に対して曲中心の充実した内容にしたいと思っています。でも、まずはメソッドの総仕上げ。誰もが知っている《アマリリス》（伝ルイ13世、H. ギース作曲）のメロディーをもとに変奏曲を作ってみました。今までに出てきたいろいろな要素を盛り込みましたが、すでに練習している皆さんなら問題なくできることでしょう。いつものように1頁で1曲となっていますが、自由に組み合わせてもOK。ぜひ楽しんでください！

レッスン34 総合1

ジュリアーニの初級の練習曲などに見られますが、４分音符が８分音符になり、3連符から16分音符に…という変奏の仕方を**音型変奏**といいます。内容（雰囲気）は変えずに音型だけを変化させていくというもの。古典派の変奏曲は大部分がこれに当てはまります。

テーマ。最初は低音部を*p*で、次に高音部を*im*で、そして3声の和音を*pim*、4声の和音を*pima*で。メソッドの最初に出てきて覚えた順番です。

第１変奏。8分音符の変奏には、装飾音とスラーが登場します。

第２変奏。３連符の変奏。メロディーが上にあるパターンと下にあるパターン。変化音も出てきます。

第３変奏。細かな16分音符の変奏。*pima*の総合的な動きですが、パターンさえ把握していれば無理なく弾けるでしょう。3指ソを離さずに押さえたままなのが手の小さな人には難しいかも。

コーダ。ナチュラル＆オクターブ・ハーモニックスとタンボーラ。詰め込みすぎかも…。

レッスン35 総合2

音型だけでなく、拍子やリズム・調性など、雰囲気そのものを変えてしまうのが**性格変奏**です。古典派の一部やロマン派の変奏曲は大方これと言ってよいでしょう。ここでは各変奏に「優美」「憂鬱」「歓喜」という副題を付けました。

第4変奏。拍子を8分の6拍子に変化させて、パストラール風の優美 (grazioso) な曲想にしてみました。テンポもゆっくりめの柔らかい感じになります。メロディー自体の面影もすべてをはっきりとはなぞらずに、それとなくわかる程度にしたり、一部を強調して繰り返したり、扱いも自由になっています。

第5変奏。今度は短調に。2重付点のリズムで少々重々しくしてみました。後半はカデンツァなので自由に弾いてください。古典派の変奏曲にも短調の変奏はごく普通にあるので、それらを性格変奏への萌芽と考えてもよいでしょう（長調から短調の雰囲気のギャップは大きいですから）。

第6変奏。再び長調に戻って、4拍子の生き生きした (con brio、vivace) 変奏です。メロディーを細かに分解したような、ブローウェルなどでお馴染みのミニマル・ミュージックの手法も取り入れています。繰り返す回数は目安なので、もっと多くても少なくてもよいです。この変奏で終わる場合は最後をもったいをつけて重くしていく (allargando) とよいでしょう。

レッスン36 総合3

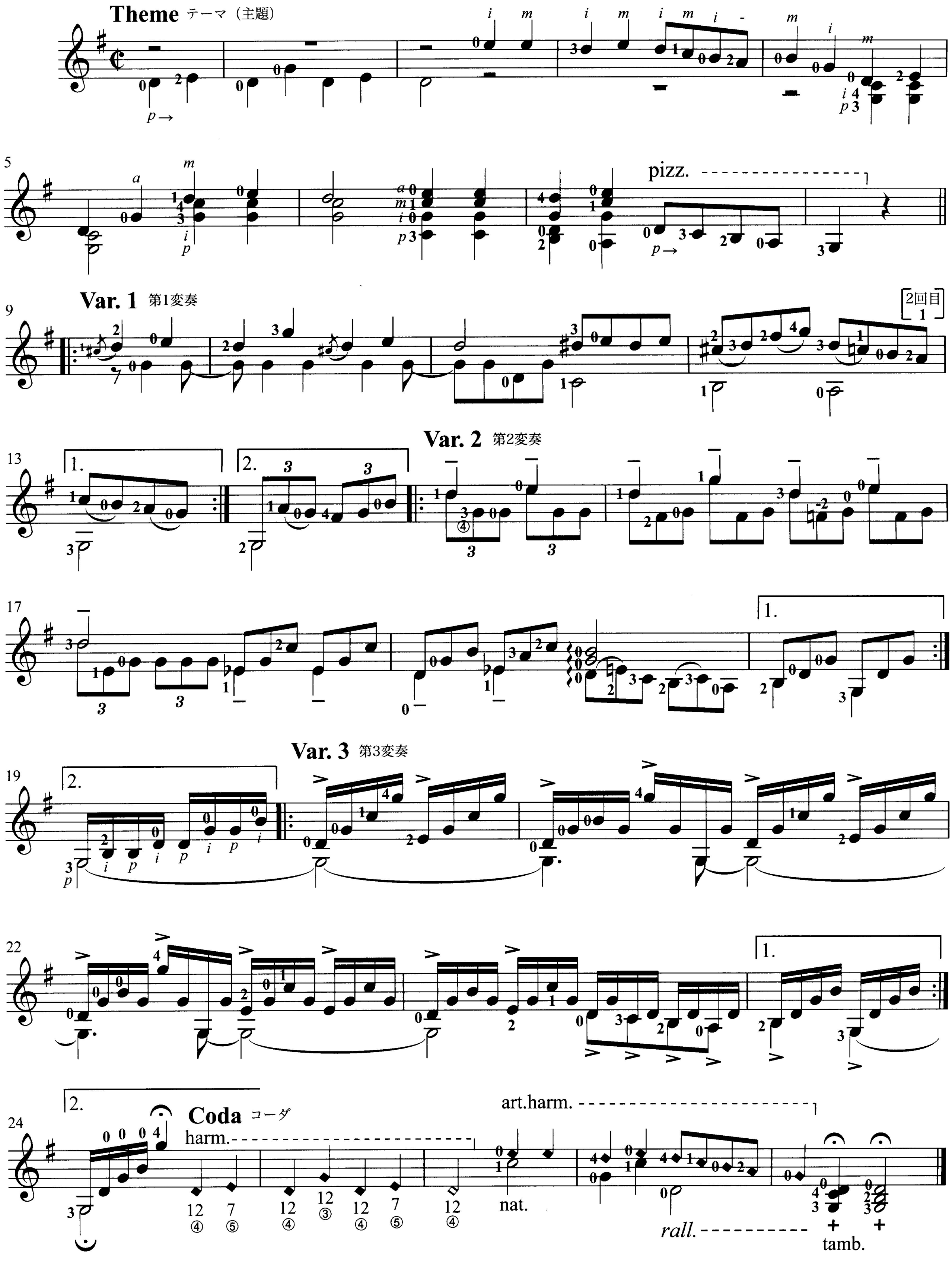
フィナーレは小さなワルツ。大きな変奏曲のシメには「フーガ」といった仰々しいものが付く時がありますが、《アマリリス》にはふさわしくありません。かわいらしい舞曲でいきましょう。どのテクニックが中心というわけではなく、いろいろな弾き方が混ざっているのがよくわかると思います。名曲と呼ばれるスタンダードな曲もしかり。ですから弾き手がケースバイケースで反応し弾き分けなければなりません。さまざまな種類のテクニックや練習曲を弾いて訓練しなければならない理由がそこにあります。そういう意味で、役に立たないテクニックは1つもありません。皆さんも常日頃から精進していきましょう！

ありがとうございました

レッスン34　総合1

03 付録CD トラックNo.

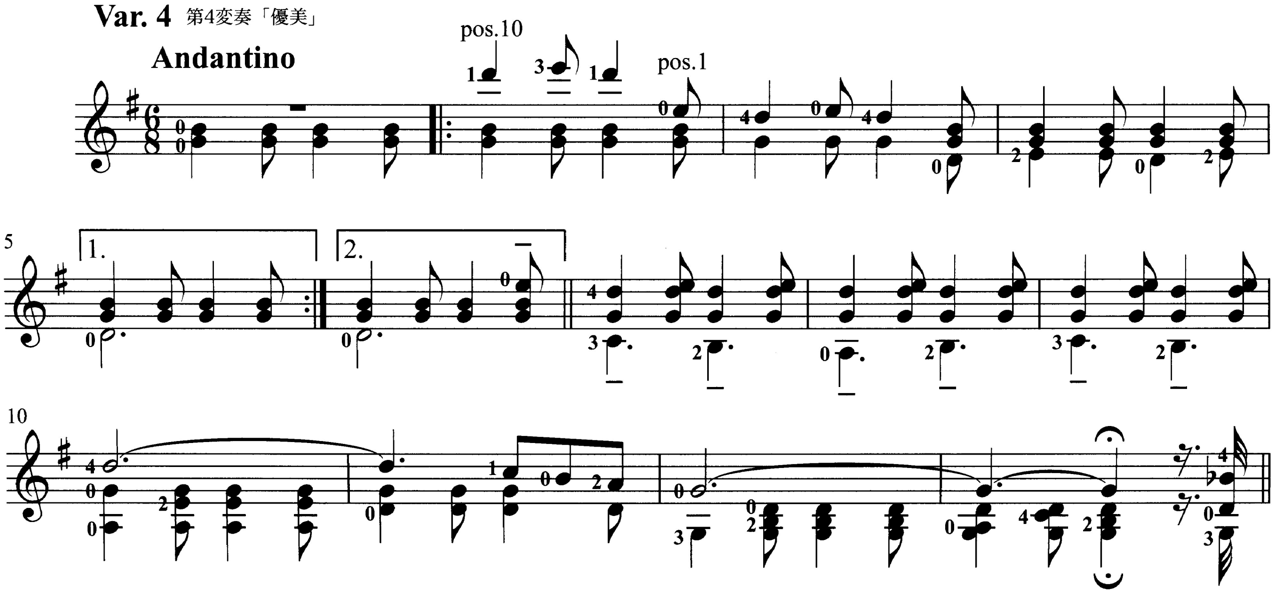
87. Amaryllis Variations (Formal Variations)

アマリリス変奏曲（音型変奏）

付録CD 04 トラックNo.

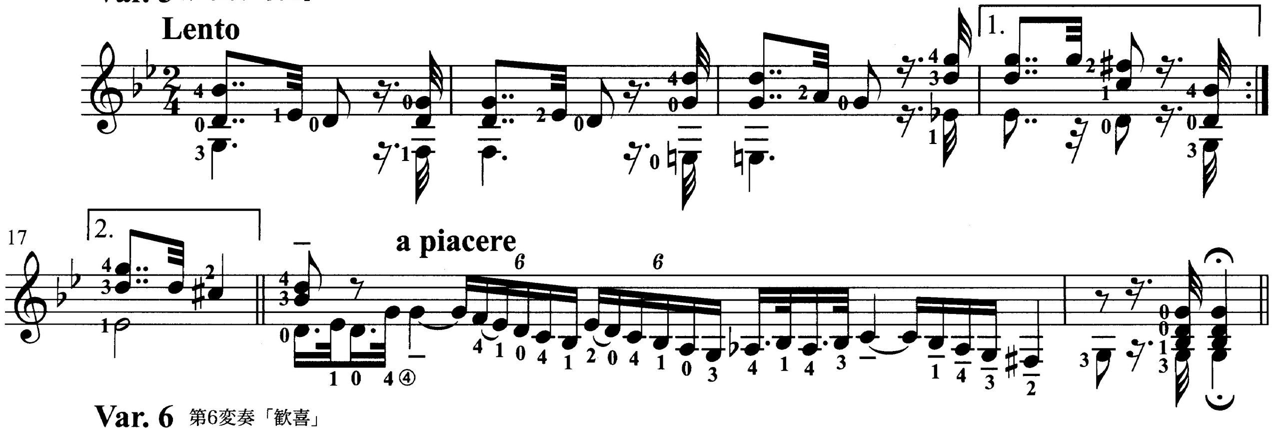
88. Amaryllis Variations (Character Variations)

アマリリス変奏曲（性格変奏）

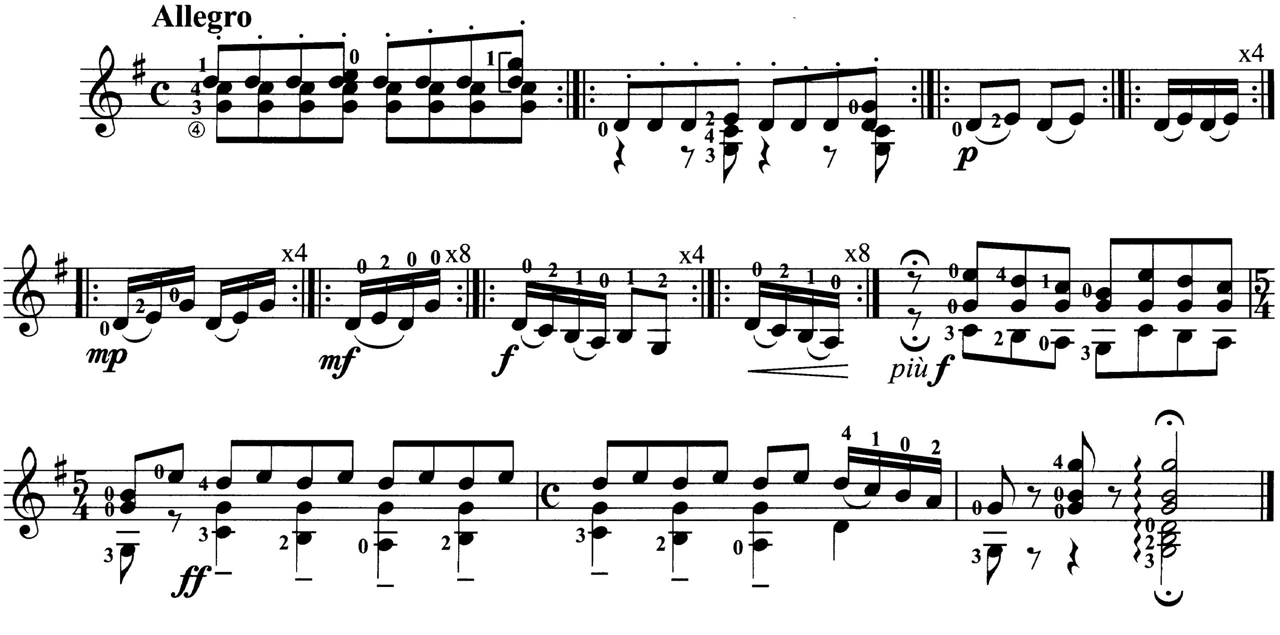
Var. 4 第4変奏「優美」



Var. 5 第5変奏「憂愁」



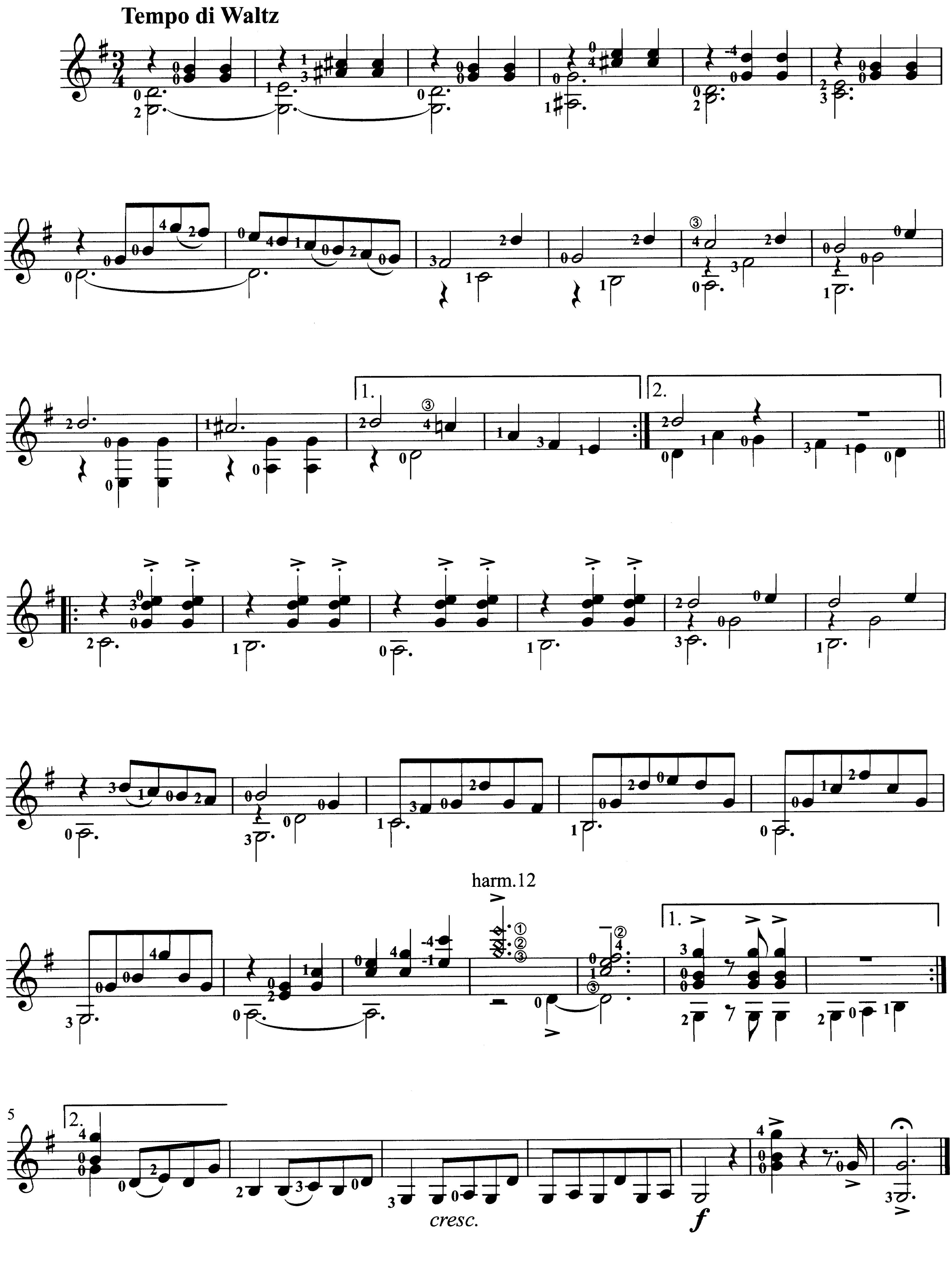
Var. 6 第6変奏「歓喜」



レッスン36　総合3

付録CD トラックNo. 05

89. Amaryllis Valse (7th variation)

アマリリス・ワルツ（第7変奏）

Play with Artistic Sense
芸術性を高める

マエストロ養成講座

Text by KATSUMI KAWAMATA
川俣勝巳

ギターを渡辺範彦、和声学を二橋潤一に師事。'87年北京ギター学会より中国に招聘。現在、「川俣ギター教室」を主催し、東京多摩地区を中心に「ギターサークルたちかわ」をはじめ多くのアマチュア市民サークルおよび大学のクラブ等の指導・指揮をし、ギターアンサンブルの分野の発展と向上に力を注いでいる。
CD「ギターによるベートーベン《運命》全曲初演ライブ」（指揮：川俣勝巳 ギターサークルたちかわ、ケンレコード）、作曲・編曲／陳志編「古典ギター独奏重奏曲精編」（共著、中国上海音楽出版社）、同曲集CD「クラシックギター・ニューワールド」（演奏：毛塚功一、ケンレコード）、「ギターアンサンブル・レパートリー1～4」（共著、現代ギター社）。

第12回　ジュリアーニ《庭の千草》

今回も前回の「６つのアイルランド民謡」から《庭の千草》です。メロディーはよく知られていますが、現在歌われているのと少し違います。もともとは違うメロディーだったのか、ジュリアーニが変えて使ったのかはわかりません。

前回と同じくこの曲も変奏曲の形で書かれています。第1変奏がいきなり短調になってしまうのは珍しいですね。しかし第2変奏がテーマに近い変奏ということを考えると、ジュリアーニはテーマをＡとすると短調の部分がＢ、第2変奏がＡ'となる形を意図し、大きな変奏曲ではありませんが、コンパクトな中にも整った形式が感じられるように作曲したのかもしれません。ちなみに、メルツもこの曲をギターソロ用に編曲しています（変奏曲ではありませんが）。

テーマ

まずはメロディーだけを取り出して弾いてみましょう。音質や抑揚に注意して、きれいに歌わせる練習をしましょう。ピアノのところは、ただ小さく弾くのではなくて、柔らかい音でしっかり弾くようにしたほうが生き生きと聞こえると思います。

[6]と[22]のレは飛ばすつもりでしっかり弾きましょう。

[8]から[16]は対比をつけてやや元気よく。イメージが固まったら、それを壊さないように伴奏を付けていきます。音が少ないと、簡単だと思い弾き飛ばしてしまいがちですが、ごまかしのきかないシンプルなものほど難しいものです。

第1変奏

平行調のト短調になります。重々しさを出しましょう。ギターでは嫌われがちな調ですが、なかなか良い響きですね。

メロディーが付点4分音符の時に下声部に出てくる合いの手のように聞こえるモチーフが特徴です。これを強調しておきます。[41]からの中間部ではこれがメロディー的に発展して出てきます。調も長調に変わっていき、テーマより4小節長くなった[49]から[52]で1つの頂点を作ります。

[51]から[52]はややオーバーに弾いてもよいかも知れません。[53]からまた短調に戻り第1変奏を終わります。ジュリアーニの工夫が一番見られるのがこの変奏ですね。

第2変奏

始めにも書いたように、[61]からはテーマを華やかにしたような変奏になっています。16分音符で書かれている音符の中からメロディーと伴奏を弾き分けるのがポイントになります。

[70]からは下声部と上声部が交互にやり合うという感じで、主張し合いながら弾きましょう。

コーダ

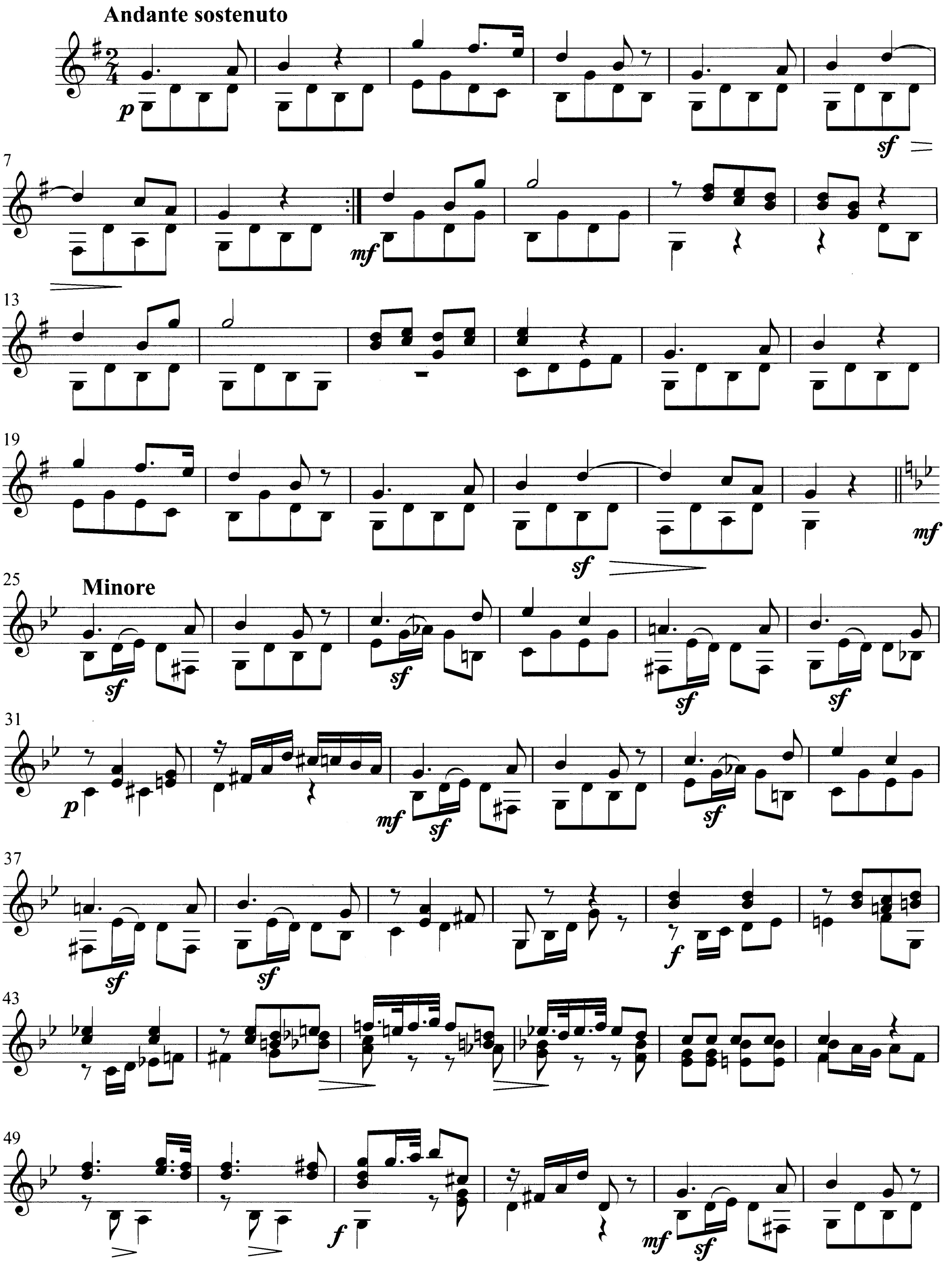
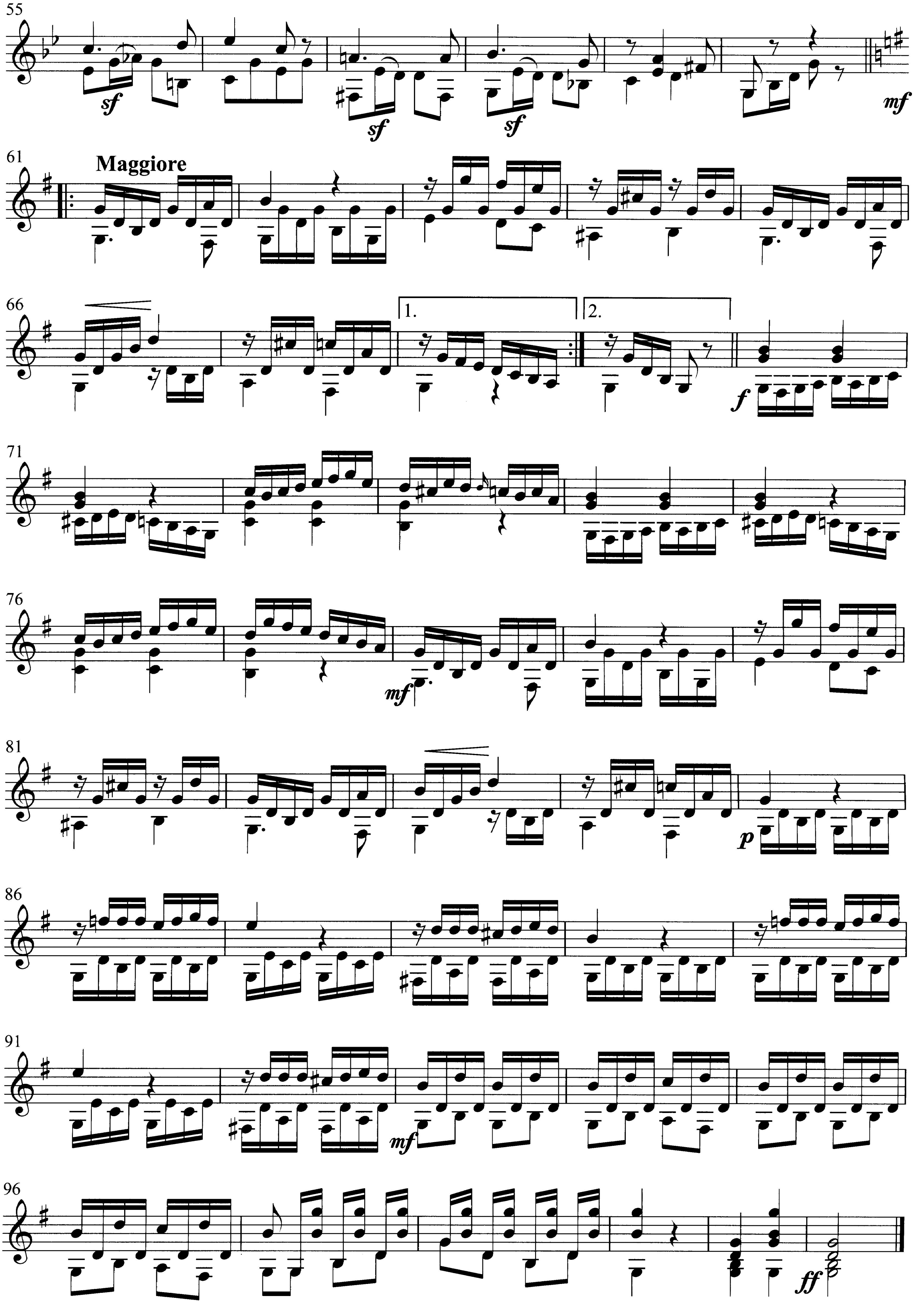
[86]からコーダに入ります。右手の使い方にちょっと迷うところですね。piの交互を伴奏に使うとメロディーをａで弾くことになります。これはちょっと弾きにくいのですが、右手のパターンが揃うのでこの右手運指で良いと思います。だんだん盛り上げて華やかに終わりましょう。

06 付録CD トラックNo.

The Last Rose of Summer

from Sei Arie Nazionali Irlandesi Variate op.125

庭の千草（アイルランド民謡）

Mauro Giuliani

55
sf
sf
sf
mf
61
Maggiore
66
1.
2.
f
71
76
mf
81
p
86
91
mf
96
ff

ギターグルメのためのレパートリー

Repertoire of Guitarist

付録CDに模範演奏が収録されています。

フランシスコ・タレガ

エンデチャ、オレムス

エンデチャ（Endecha）は哀歌または挽歌を意味し、葬式や追悼の際に演奏される曲。7音節の4行詩で歌われるのが本来の姿で、タレガのこの曲も7音による4フレーズが印象的です。オレムス（Oremus）はラテン語で「われら祈らん」の意味。最晩年のコンサート活動の途中に立ち寄った教会で、信徒たちの歌や祈りに耳を傾けるうちに作った曲と言われていましたが、実はシューマンの《幻想的舞曲 op.124-5》の編曲。その2週間後にタレガはこの世を去り、彼の遺作となりました。（毛塚功一）

ヨーゼフ・カスパル・メルツ

恋人の墓の前にて

《挽歌（哀悼の歌）》の第1曲。メルツのテルツギター（短3度高い調弦）による一連の作品の1つです。通常のギターでは3カポになりますが、ハイポジションが少々大変かもしれません。曲はメルツのソロ曲集《吟遊詩人の歌》の雰囲気にも通じるロマンティックなもので、ソルやジュリアーニの曲ではなかなか味わえない良さがあります。[1]～[19]までの主部は「嘆き」、[20]～[60]の中間は弔いの鐘が聞こえ、静かで穏やかな「悲しみ」が歌われます。悲しみを長調で表現するのは西洋の特徴。[61]で主部が再現した後、[80]からはコーダ。再び鐘の音が聞こえ、感極まり、[89]で *ff* になります。ソルの《悲歌風幻想曲》では「シャ - ロット！　アデュー！」の部分ですね。（佐藤弘和）

二橋潤一

「フレール・ジャック」変奏曲第2、3変奏

変奏2は主題開始部分のモティーフを主に展開したものです。変奏3は静かな歌をイメージしました。（二橋潤一）

ジェイソン・テイラー

早朝の旅立ち（Getting Hereより）

《Getting Here》は野村芳生の委嘱により作曲され、作曲者自身と野村によって2007年4月29日名古屋ヤマノホールで初演されている。この作品は、ウィリアム・ギブソンの小説「パターン認識」で知った、肉体と魂とのズレという考えにもとづいている。つまり、魂は時速100キロほどでしか移動できないので、肉体が100キロ以上のスピードで移動するとついて行けない、というものである。だから肉体が目的地に到着したとしても、魂が追いつくにはさらに2,3日を要するのである。私はこの考えを気に入り、自分の魂が日本へ到着するまでのさまざまな冒険を空想した。孤独な早朝の旅立ち、数々の荒波と神話上の生物の目撃、闇の中での部族の踊り、そして日本への到着とサクラ吹雪、最後は、魂と肉体の再結合の祝賀会…。（ジェイソン・テイラー）

熊本民謡（壺井一歩・編曲）

五つ木の子守歌

下降音型に彩られた《五つ木の子守歌》。

霞の中にあるようなイメージだろうか。練習番号[2]からは少し雰囲気を変えて。練習番号[3]のところで、ようやく一条の光が射す。とびっきりの、両手のひらで受け止めたくなるような、何かを降らせ。（壺井一歩）

佐藤弘和

SUMMER

シンプルな「夏」を表現しました。最初に聞こえてくるのはお馴染みの3＋3＋2のリズム。夏の足音。ストロークで盛り上がってきたところで、意気揚々とテーマが登場。細かなアルペジオは一粒一粒、存在感があるように。ハイポジションのストロークの後クライマックス。エネルギーの爆発です。中間部は清涼感のある風が吹き抜けるといった感じでしょうか。全体的に常にアクセントを利かせた躍動感のある演奏を心がけてください。何となく「原型」といった感じのスコアなので、自分なりのアドリブを入れるくらいだと頼もしいですね！ 杜の都仙台で活躍中の愛弟子、小関佳宏君に献呈。（佐藤弘和）

フェルディナンド・カルッリ

24のデュエットより（ギター教則本 op.27より）

曲集も後半にさしかかって曲が長くなってきました。この第15番は最初こそハ長調らしい明快な曲調ですが、その後転調を繰り返し♭3つの変ホ長調まで出てきます。技術的には、さまざまな調で何度も出てくる16分音符下降スケールを鮮やかにきめていくことが練習のテーマになるでしょうが、調によって変わるスケールの1つ1つの色合いや、それらのつながりで描かれるドラマチックな音楽の気分を理解することもさらに大切です。[62]からの4小節はディレイ効果とも言えそうな面白い音使いですね。どちらのパートとも、3つの音グループの頭にほんの軽いアクセントをつけると雰囲気がよく出るでしょう。（長谷川郁夫）

ピョートル・チャイコフスキー（壺井一歩・編曲）

アンダンテ・カンタービレ

チャイコフスキー《弦楽4重奏曲第1番》から第2楽章。《アンダンテ・カンタービレ》としてこの楽章のみ単独で演奏されることも多い人気曲です。原曲が弦楽4重奏なので、ギター4重奏へのアレンジといっても大きな変更はしていません。大変シンプルな曲だけに、魅力的な演奏をするのはかえって難しいとも思いますが、ノーブルな表現の中にときおりのぞく感情の発露、といったあたりがこの曲には似合っているのではないかと想像します。（壺井一歩）

服部良一（平倉信行・編曲）

東京ブギウギ

タイトルに「ブギウギ」とついているものの本来のブギウギとは少しリズムが違います。「～ブルース」がブルースではないように、昭和歌謡にはよくあったようです。

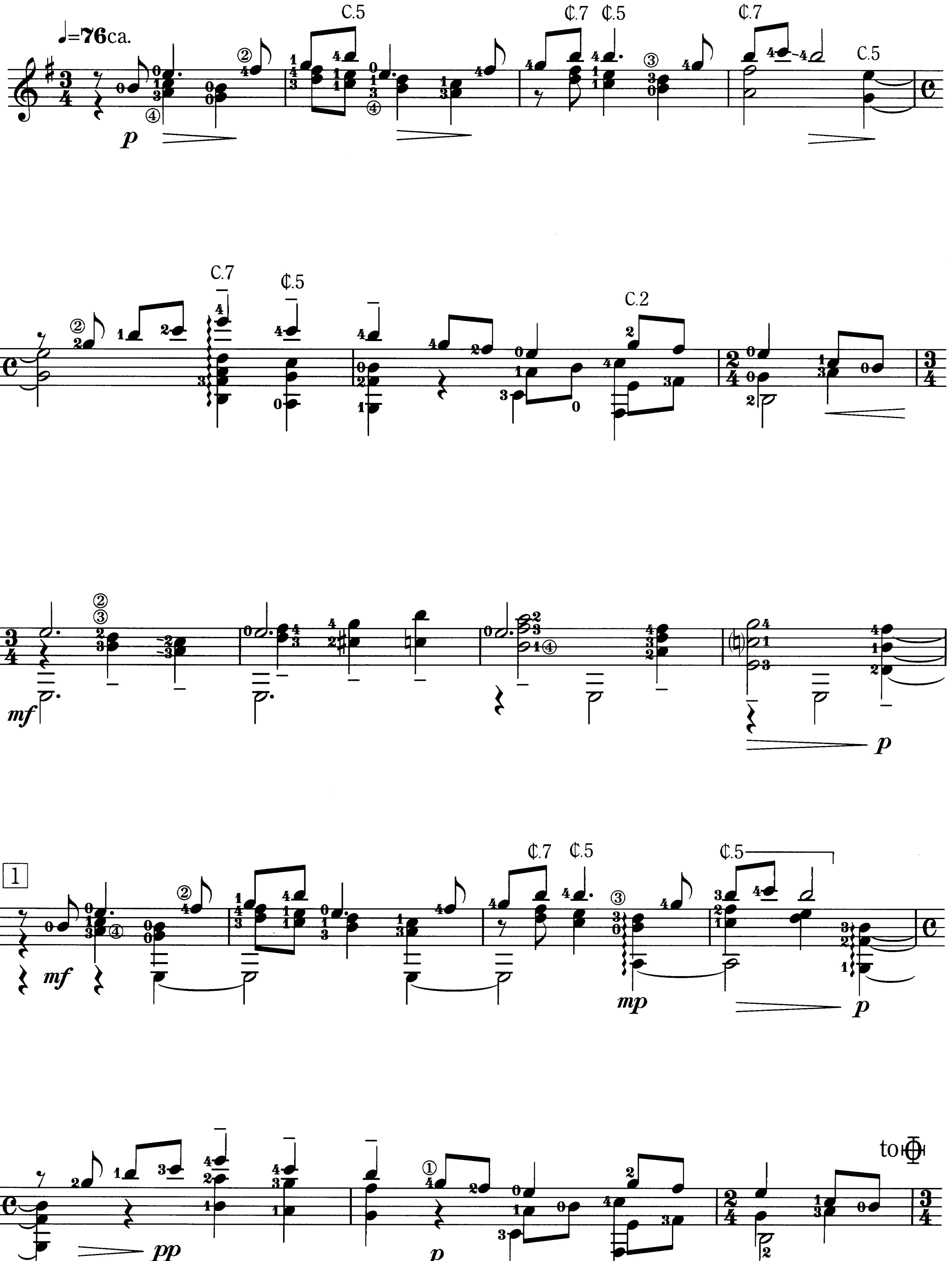
明るくノリのよい雰囲気を作るように演奏しましょう。ベースはほとんどピチカートで弾きますが、手のひらを弦に当てる位置を調整して音量の変化や鋭さを出してください。[5]のcho.はチョーキング奏法です。弦を押さえながら、押し上げて音程を変えます。ここでは半音上がるようにずらします。次のcho.Dはチョーキング・ダウンです。ずらした弦を元に戻します。（平倉信行）

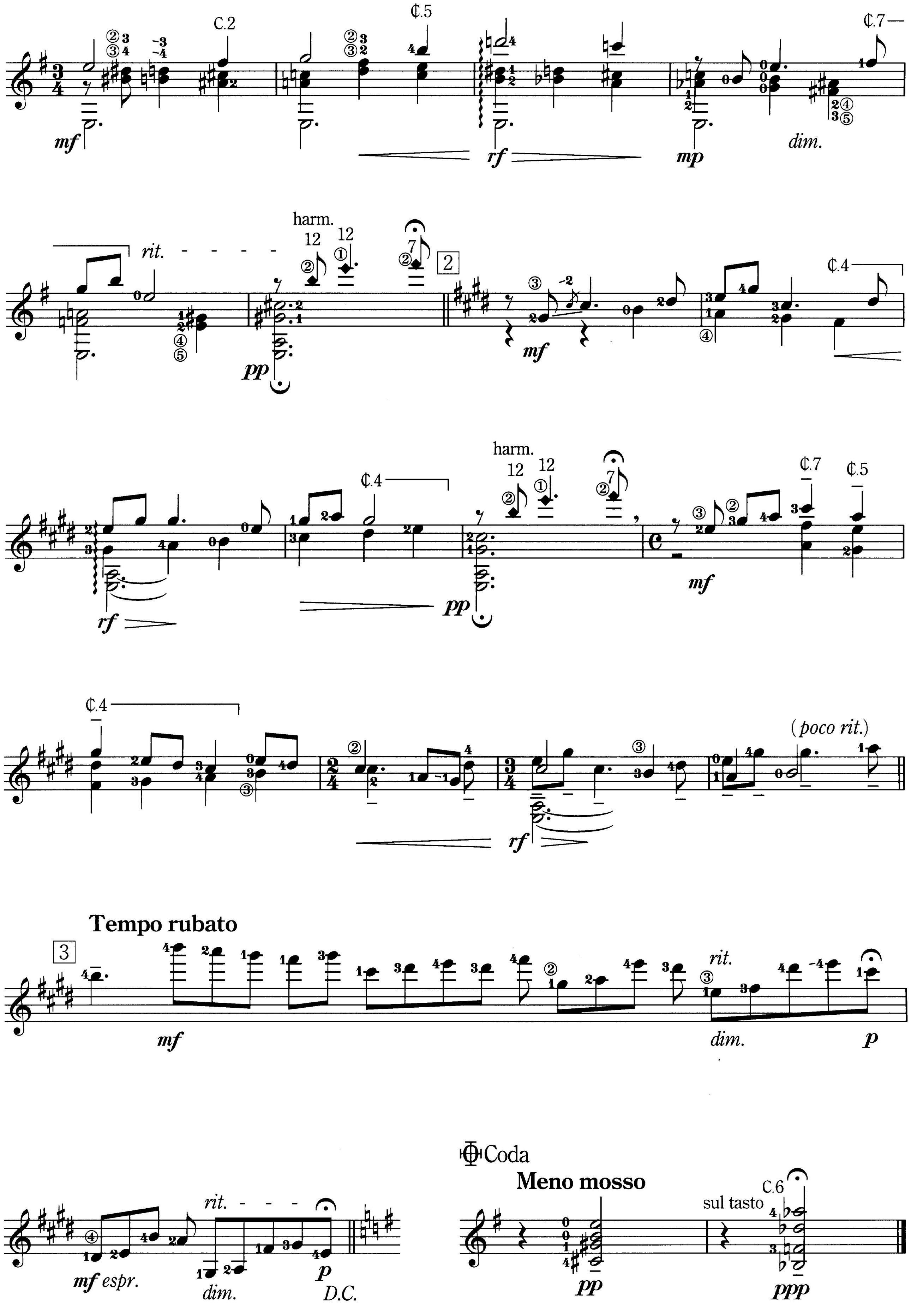
07 付録CD トラックNo.

Lullaby of Itsuki

五つ木の子守歌

Japanese Folksong
arr. by Ippo Tsuboi

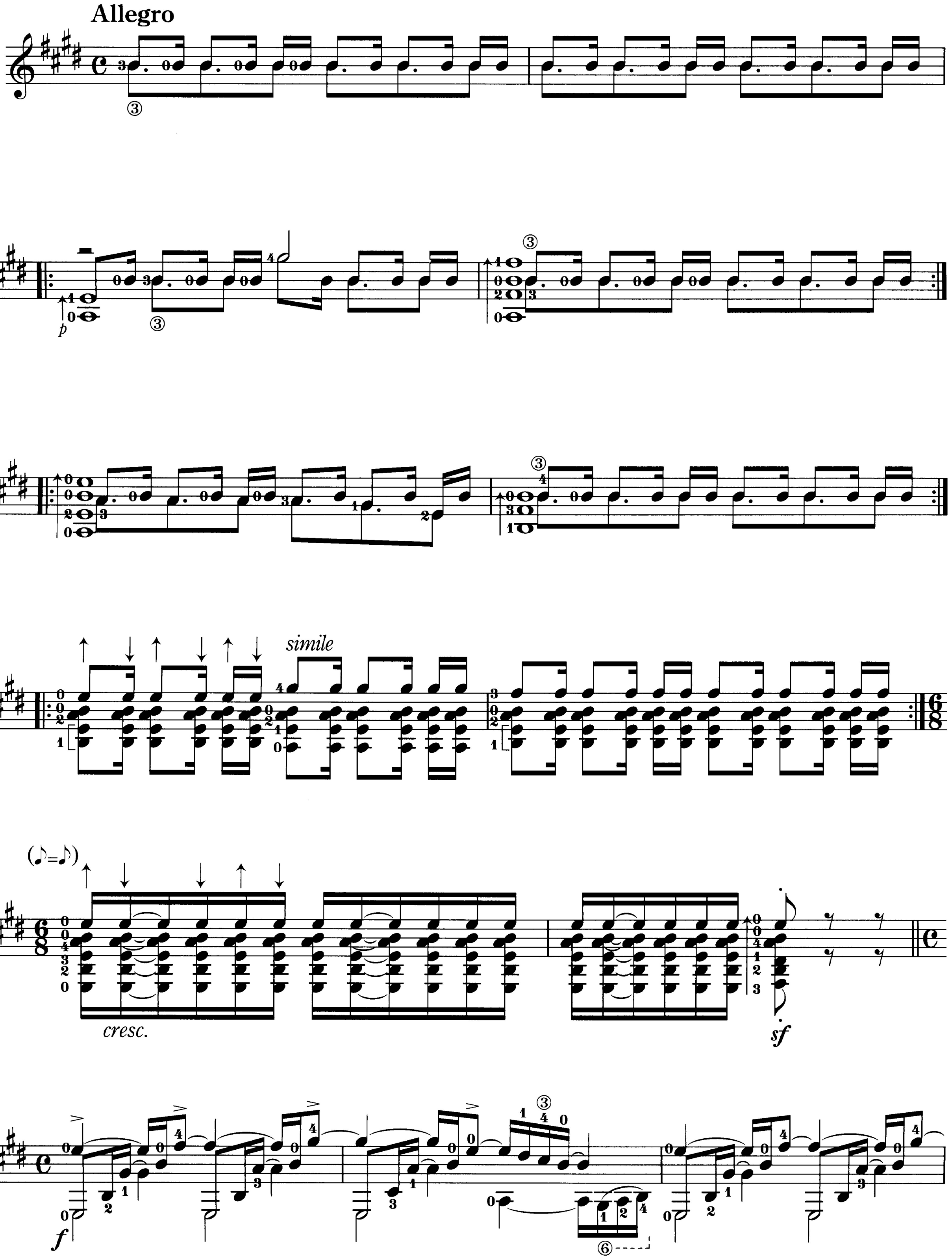
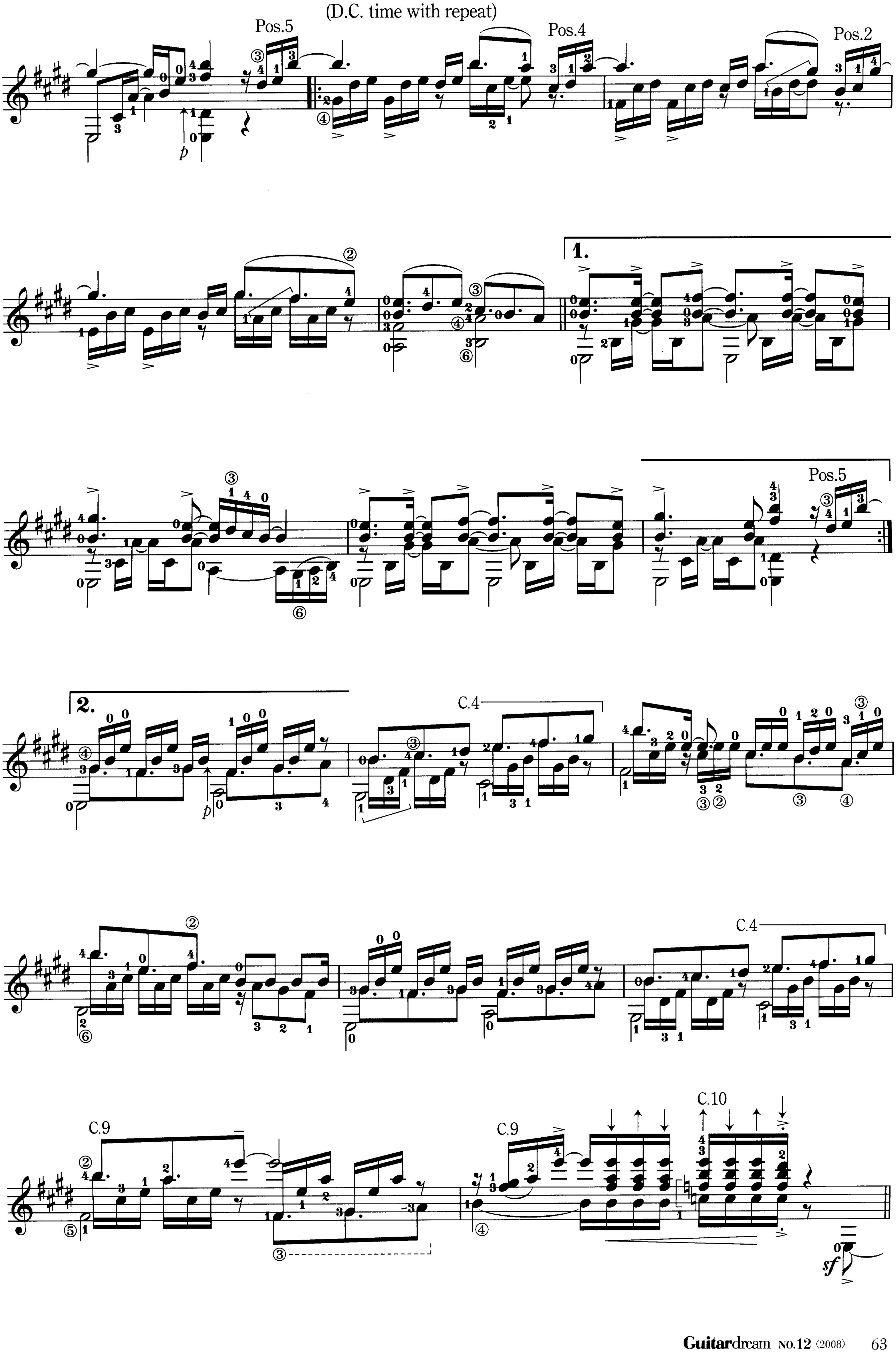
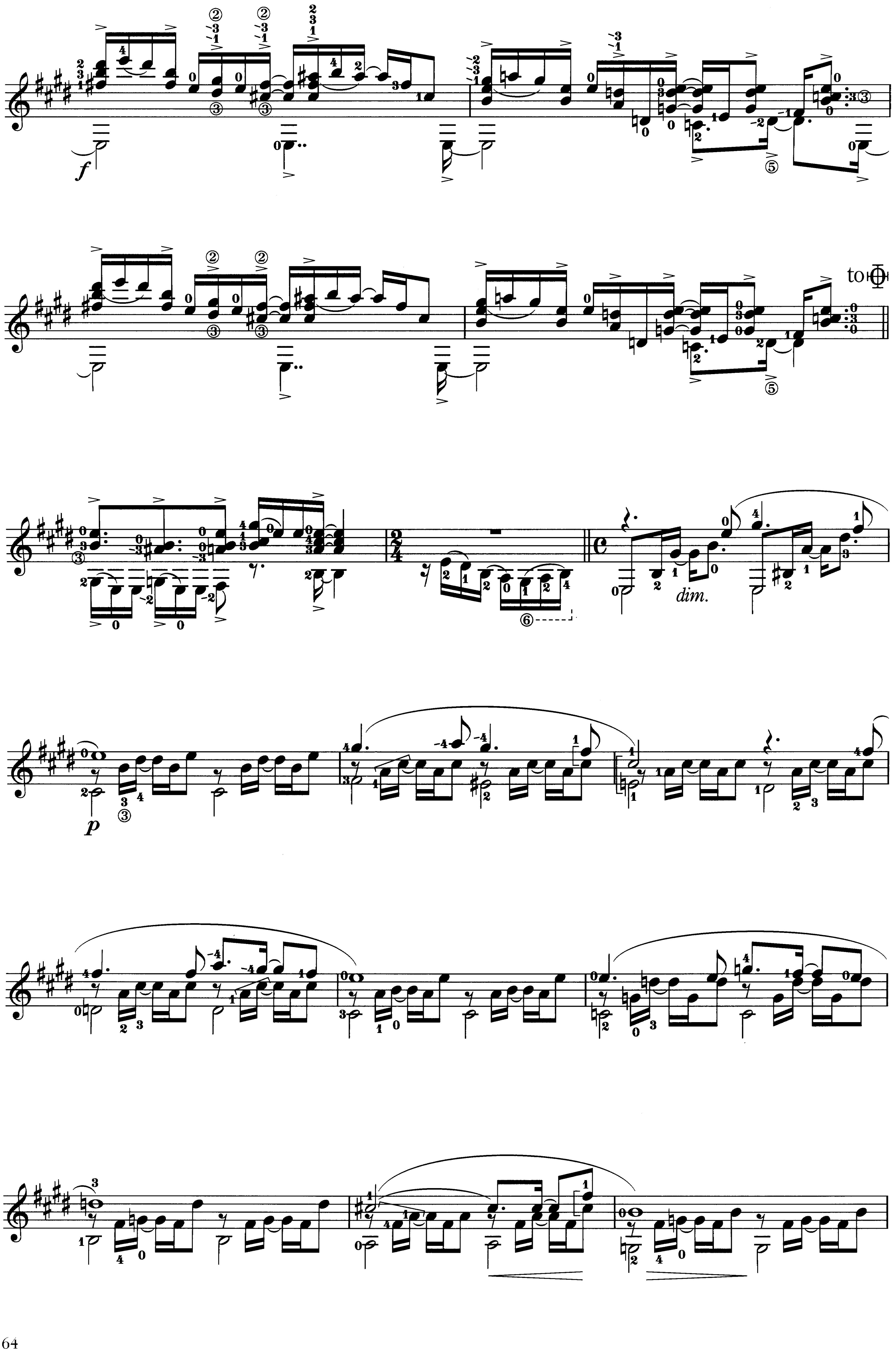
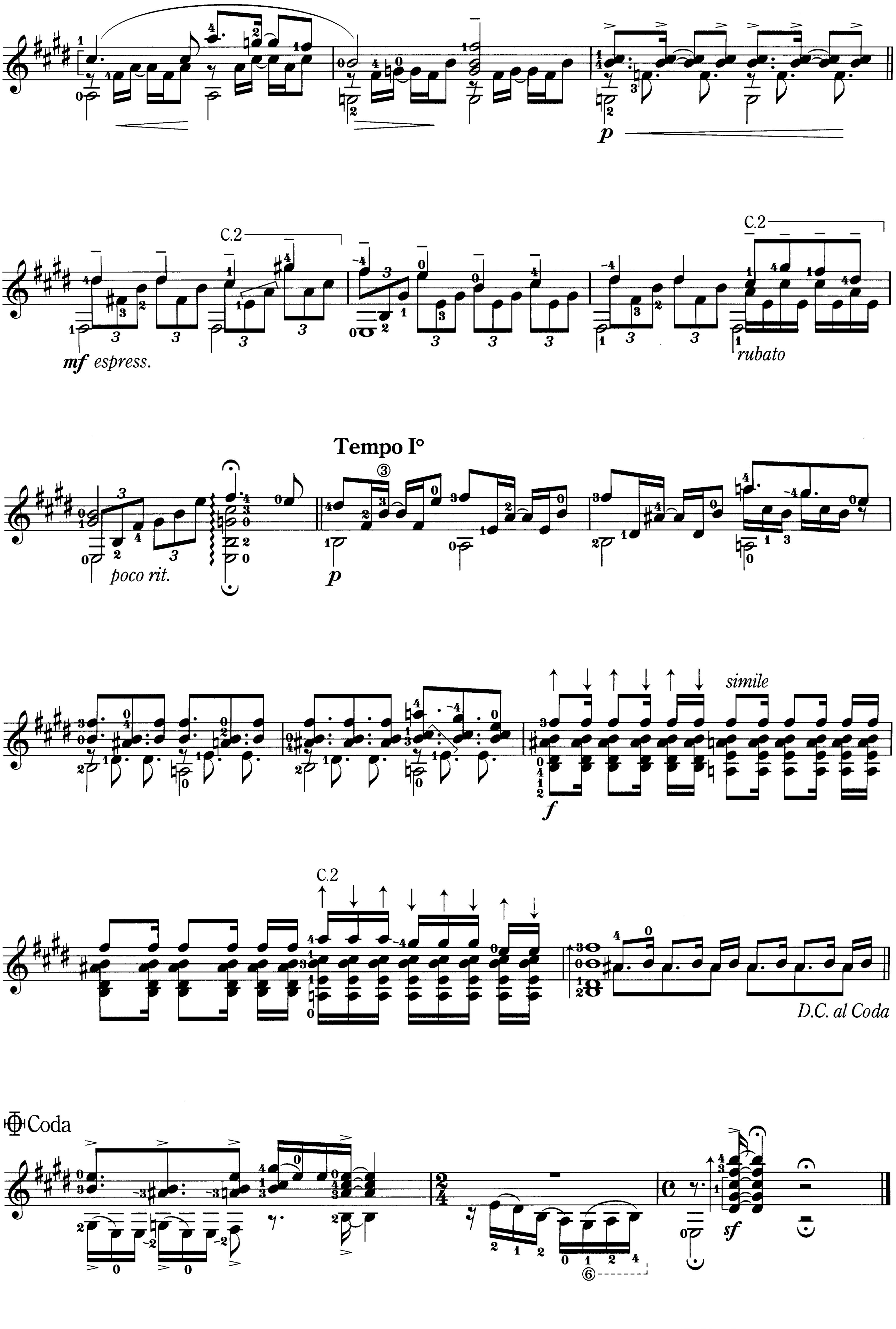
Fingered by Sachiko Miyashita

© Copyright 2008 by HOMA dream Inc. Tokyo.
International Copyright Secured.
All Rights Reserved. Printed in Japan.


C.2
₵.5
₵.7
dim.
rit.
harm.
Tempo rubato
(poco rit.)
mf espr.
D.C.
Coda
Meno mosso
sul tasto
C.6

08 付録CD トラックNo.

to Yoshihiro Koseki

Summer

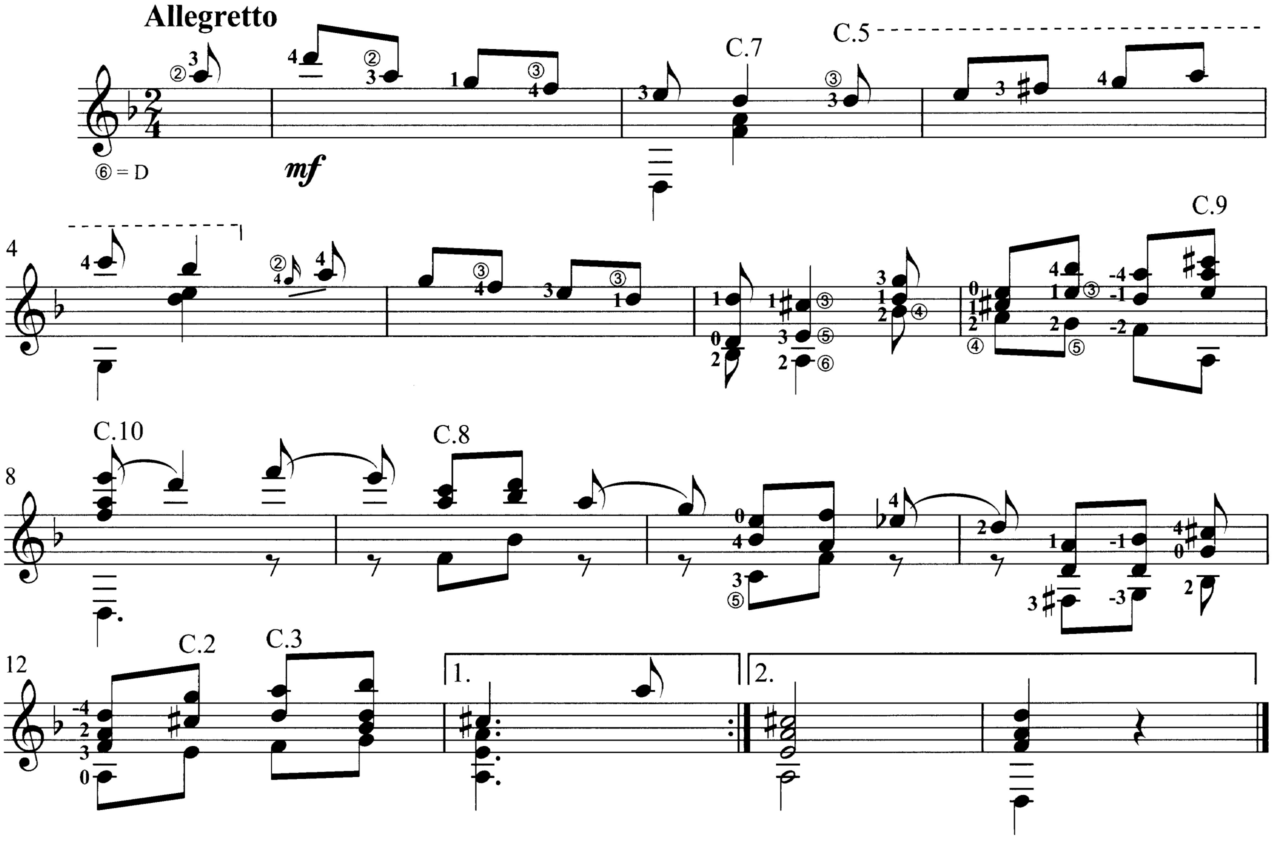
Hirokazu Sato

© Copyright 2008 by HOMA dream Inc. Tokyo
International Copyright Secured.
All Rights Reserved. Print in Japan.

(D.C. time with repeat)
Pos.5
Pos.4
Pos.2
1.
Pos.5
2.
C.4
C.4
C.9
C.9
C.10

f
to
dim.
p

C.2
mf espress.
rubato
Tempo I°
poco rit.
simile
D.C. al Coda
Coda
sf

09 付録CD トラックNo.

Endecha

Preludio

Francisco Tarrega

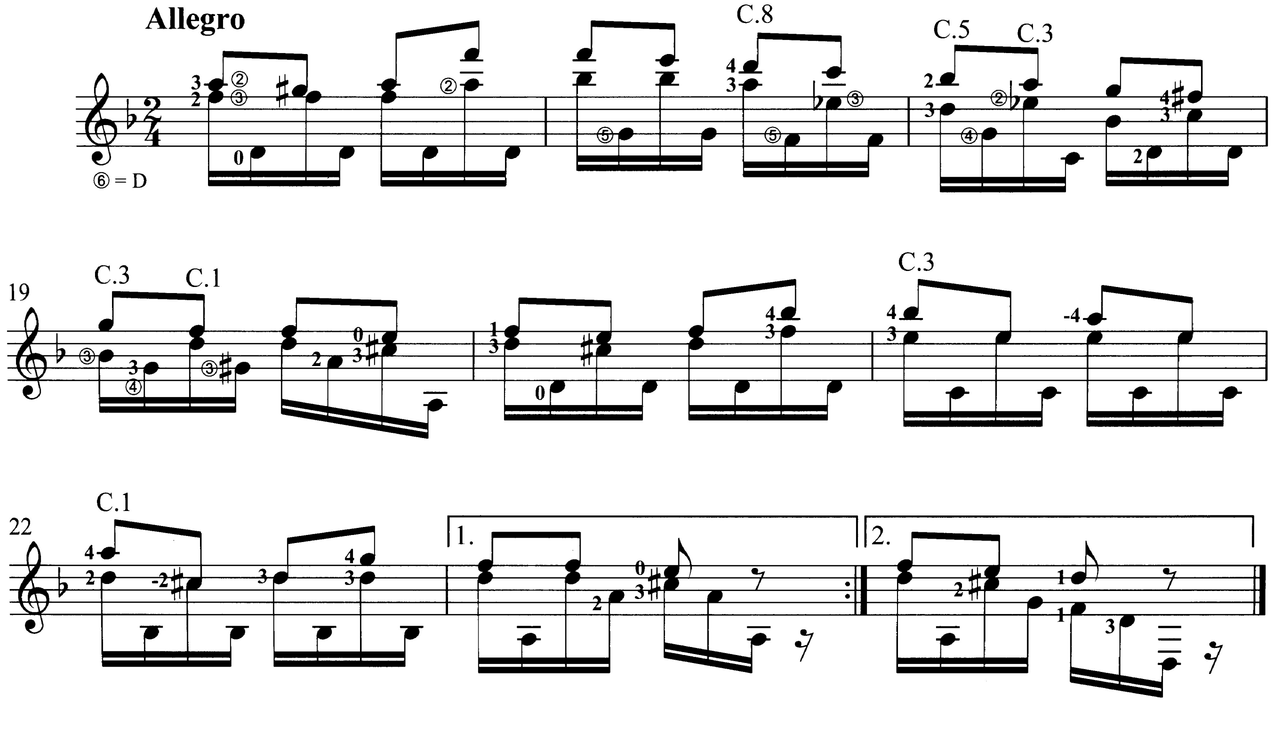
Fingered by Koichi Kezuka

10 付録CD トラックNo.

Oremus

Preludio

Francisco Tarrega

Fingered by Koichi Kezuka



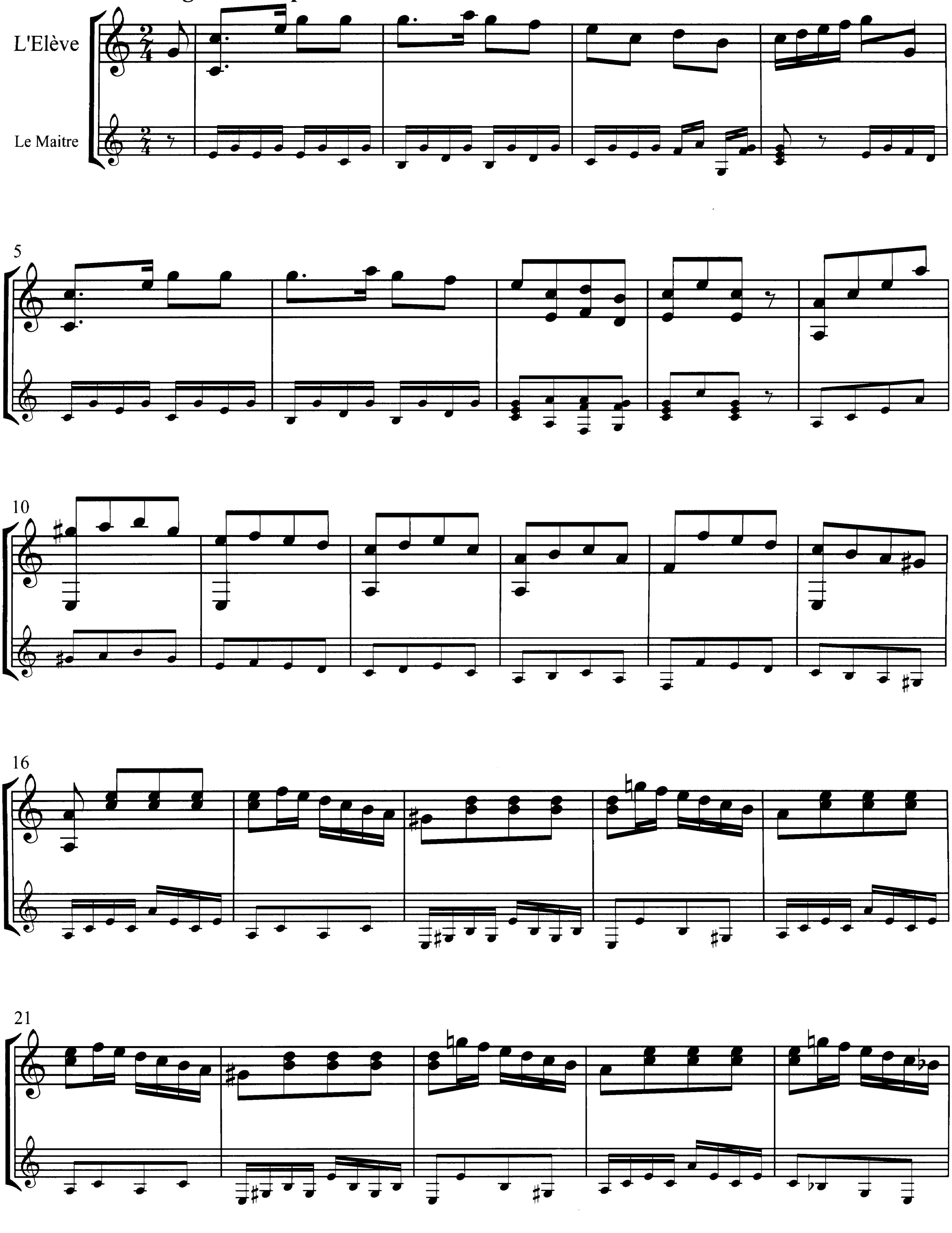
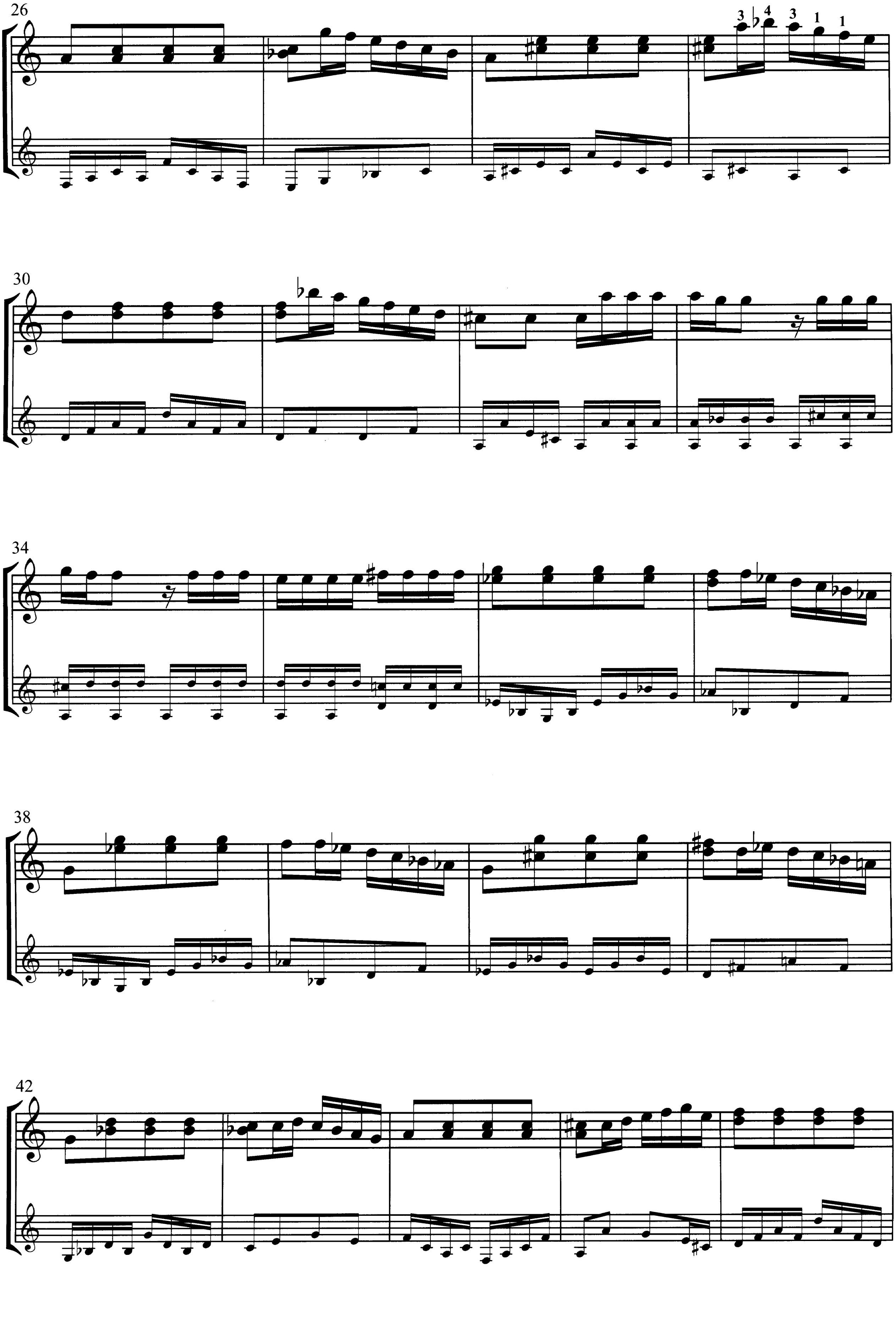
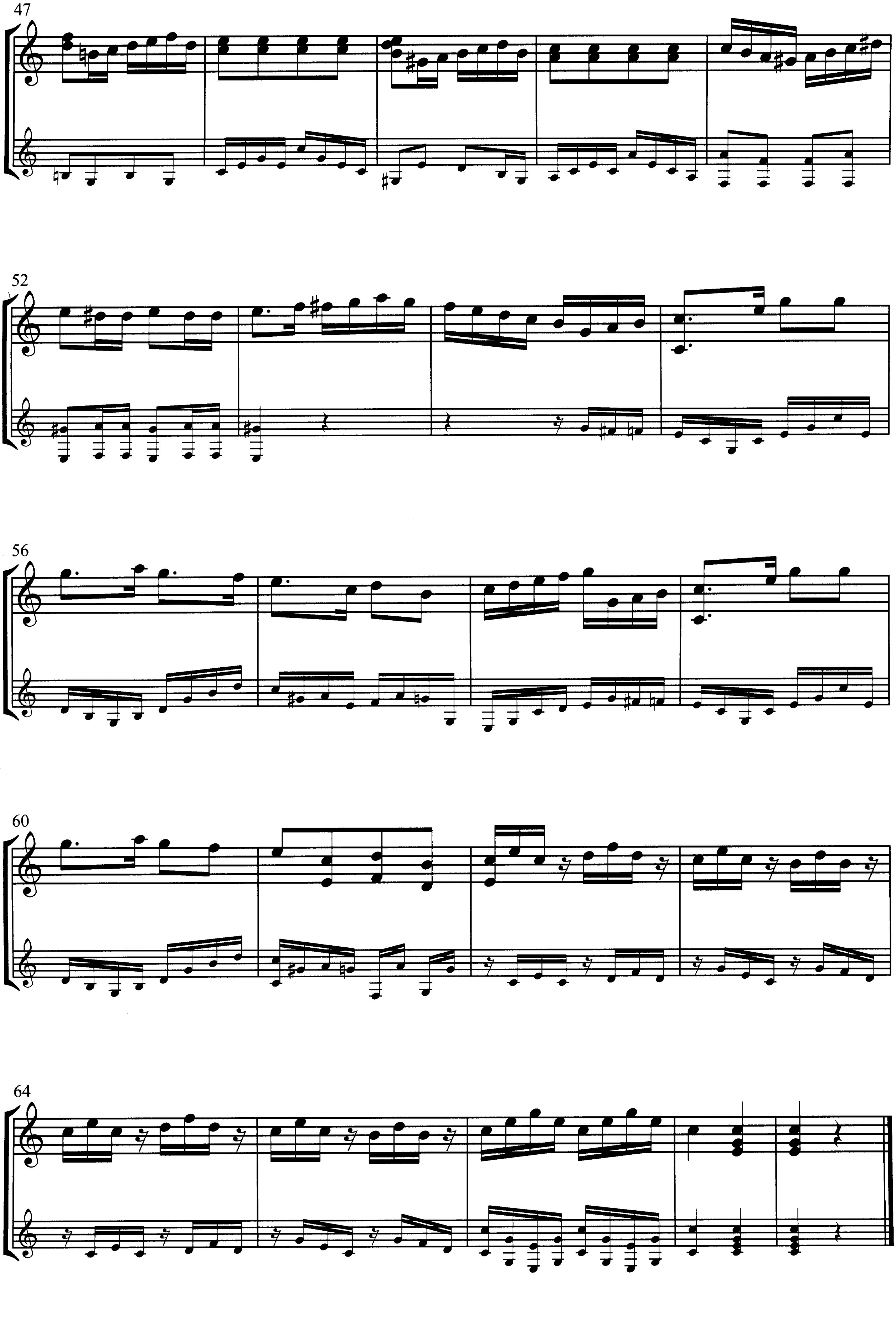
11 付録CD トラックNo.

24 Leçons

pour deux guitares

Ferdinand Carulli, op.27

15me. Leçon

Allegretto con poco moto


26
3 4 3 1 1
30
34
38
42

47
52
56
60
64

付録CD トラックNo. 12

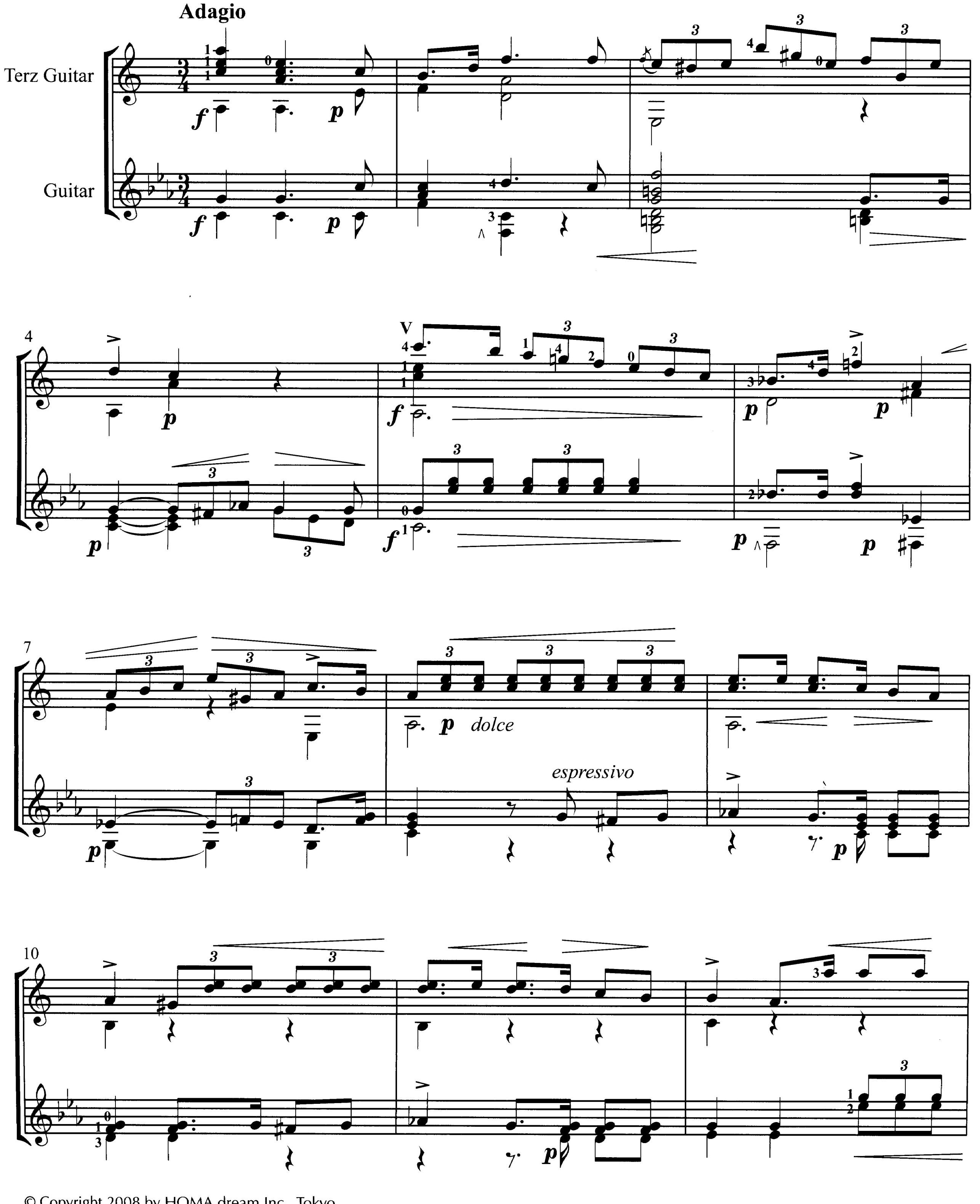
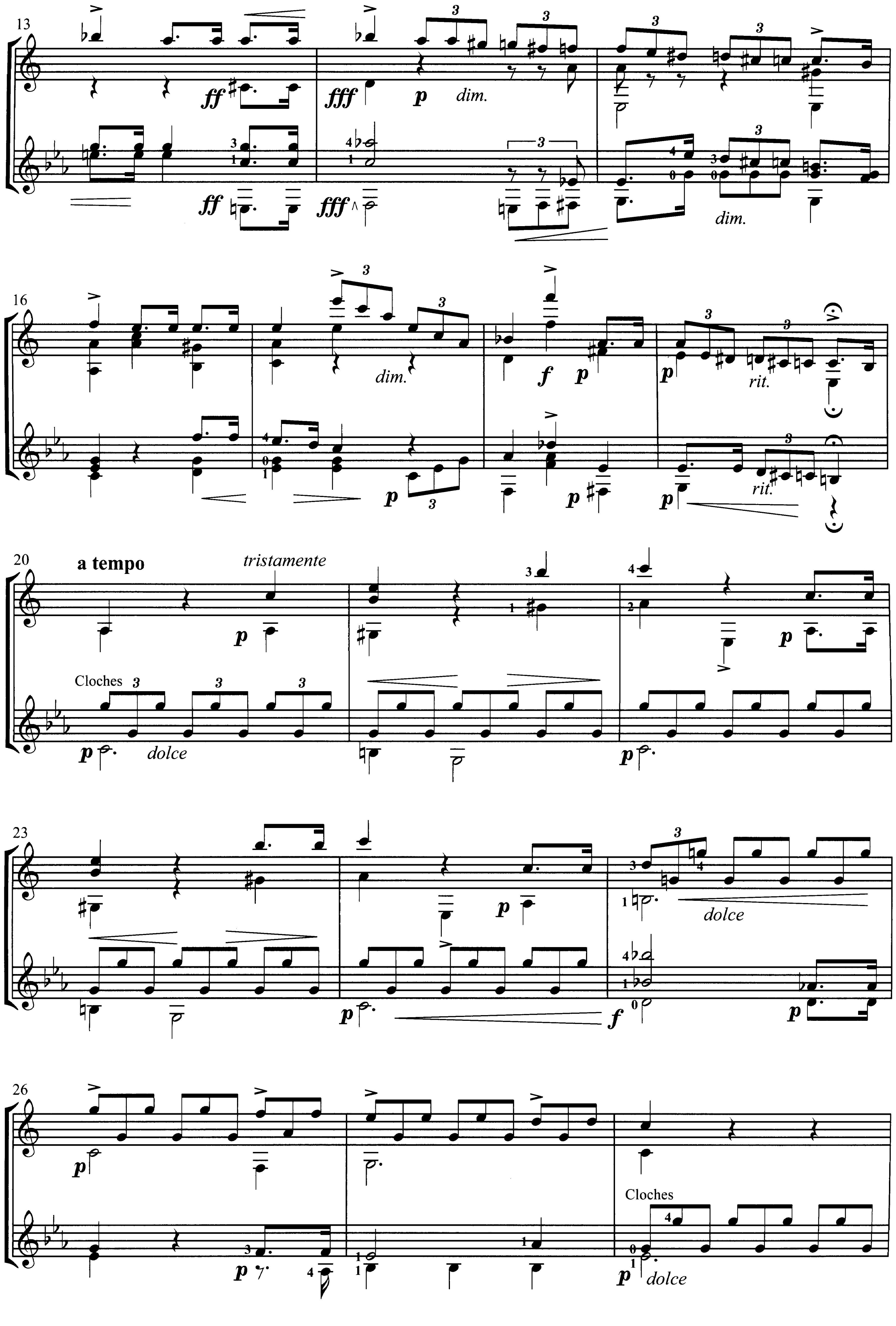
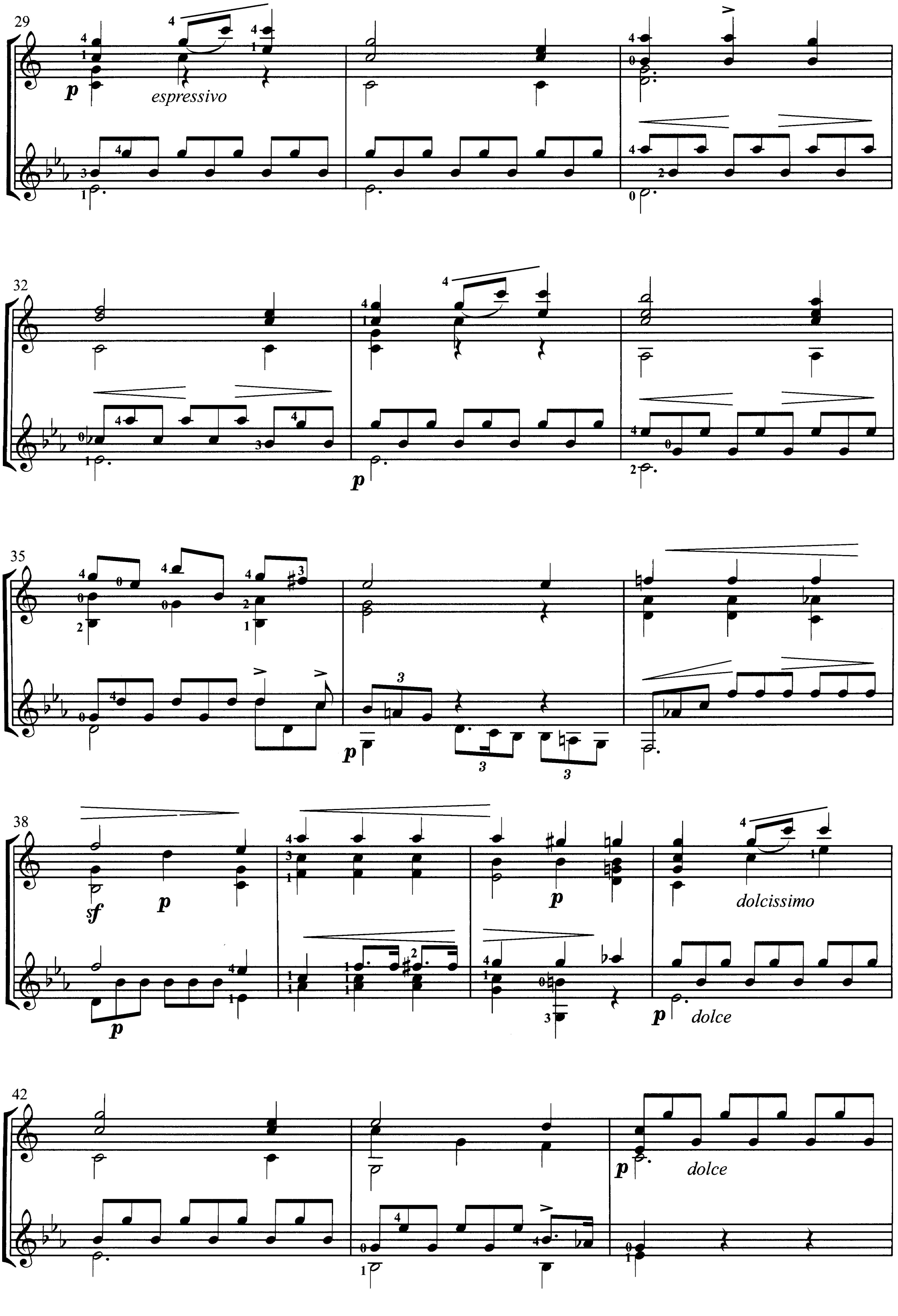
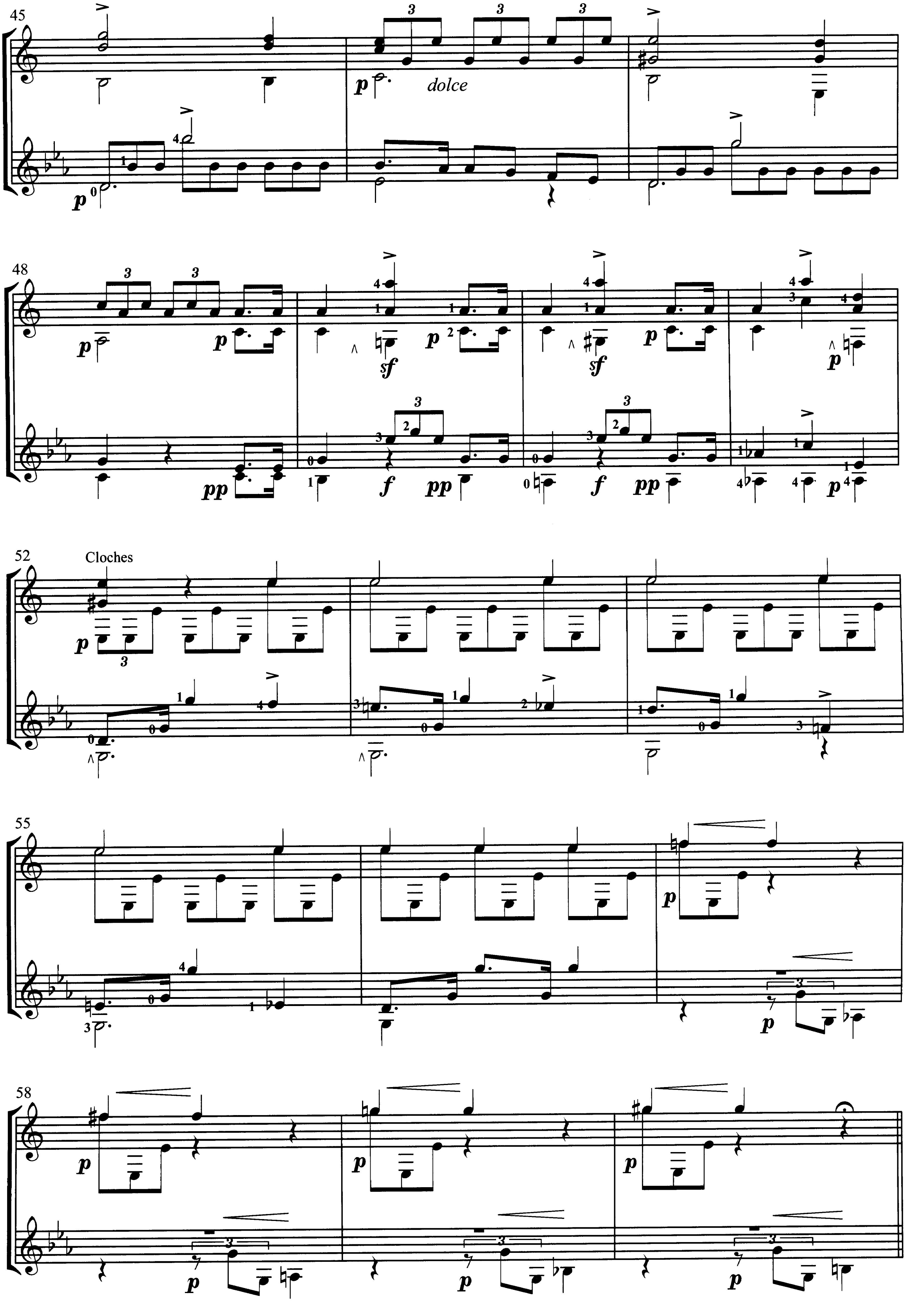
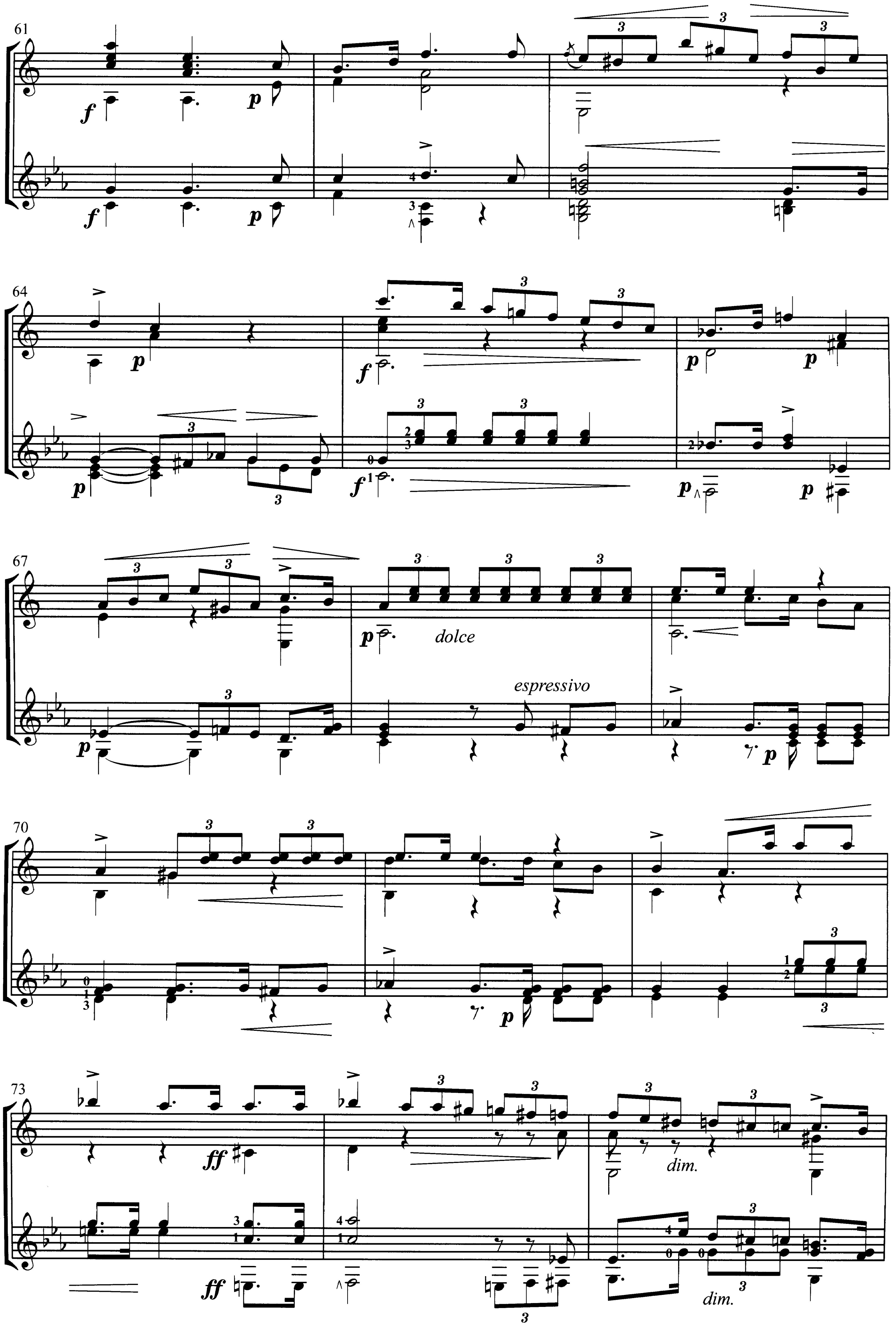
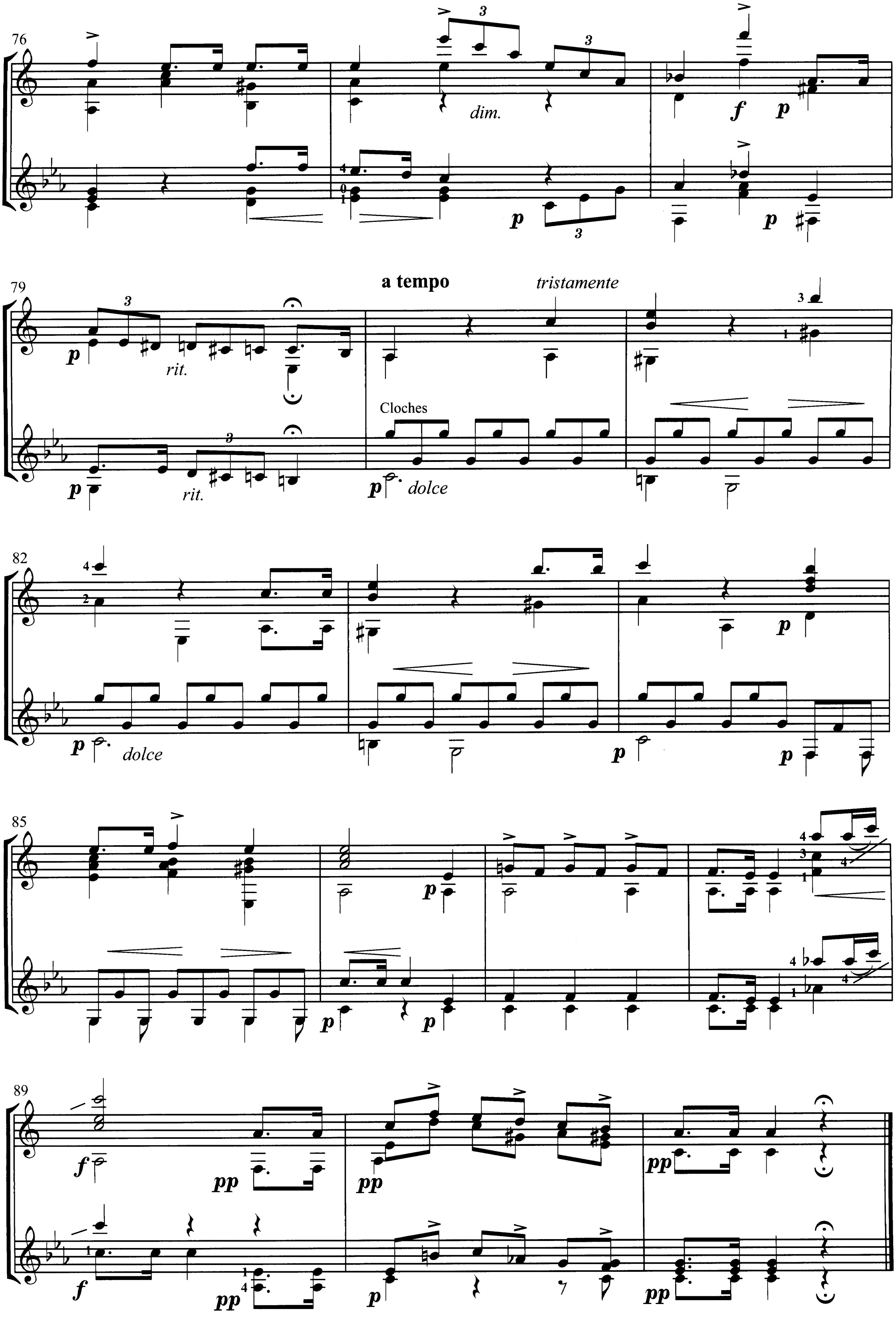
à Josef Floderer

Nänien. Trauerlieder

挽歌（哀悼の歌）

Joseph Kaspar Mertz

1. Am Grabe der Geliebten (Elegie no.1)

恋人の墓の前で

© Copyright 2008 by HOMA dream Inc. Tokyo
International Copyright Secured.
All Rights Reserved. Printed in Japan.

13
dim.
dim.
16
dim.
rit.
rit.
20
a tempo
tristamente
Cloches
dolce
23
dolce
26
Cloches
dolce

29
espressivo
32
35
38
dolcissimo
dolce
42
dolce

dolce
Cloches

61
64
67
dolce
espressivo
70
73
dim.
dim.

dim.
rit.
rit.
a tempo
tristamente
Cloches
dolce
dolce

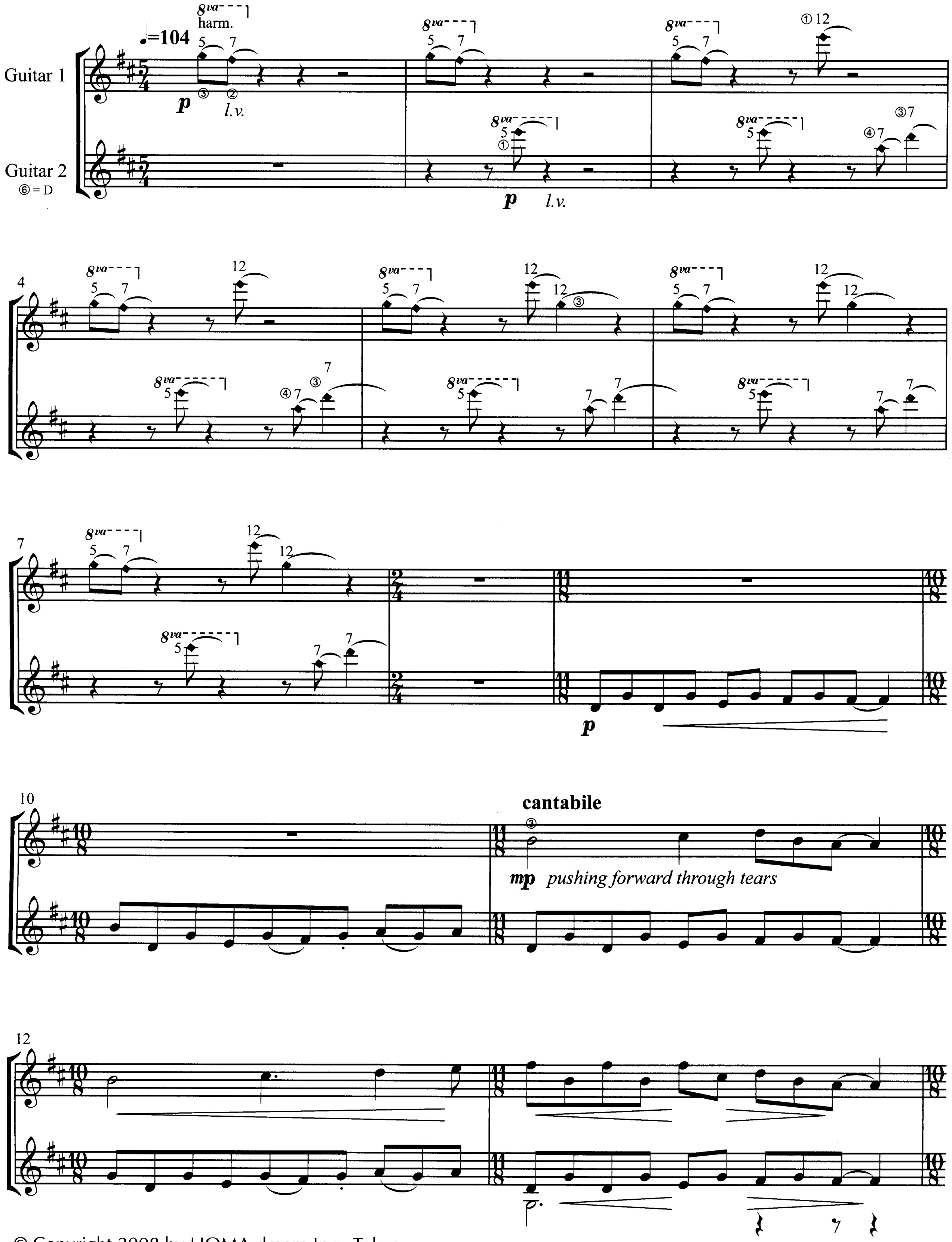
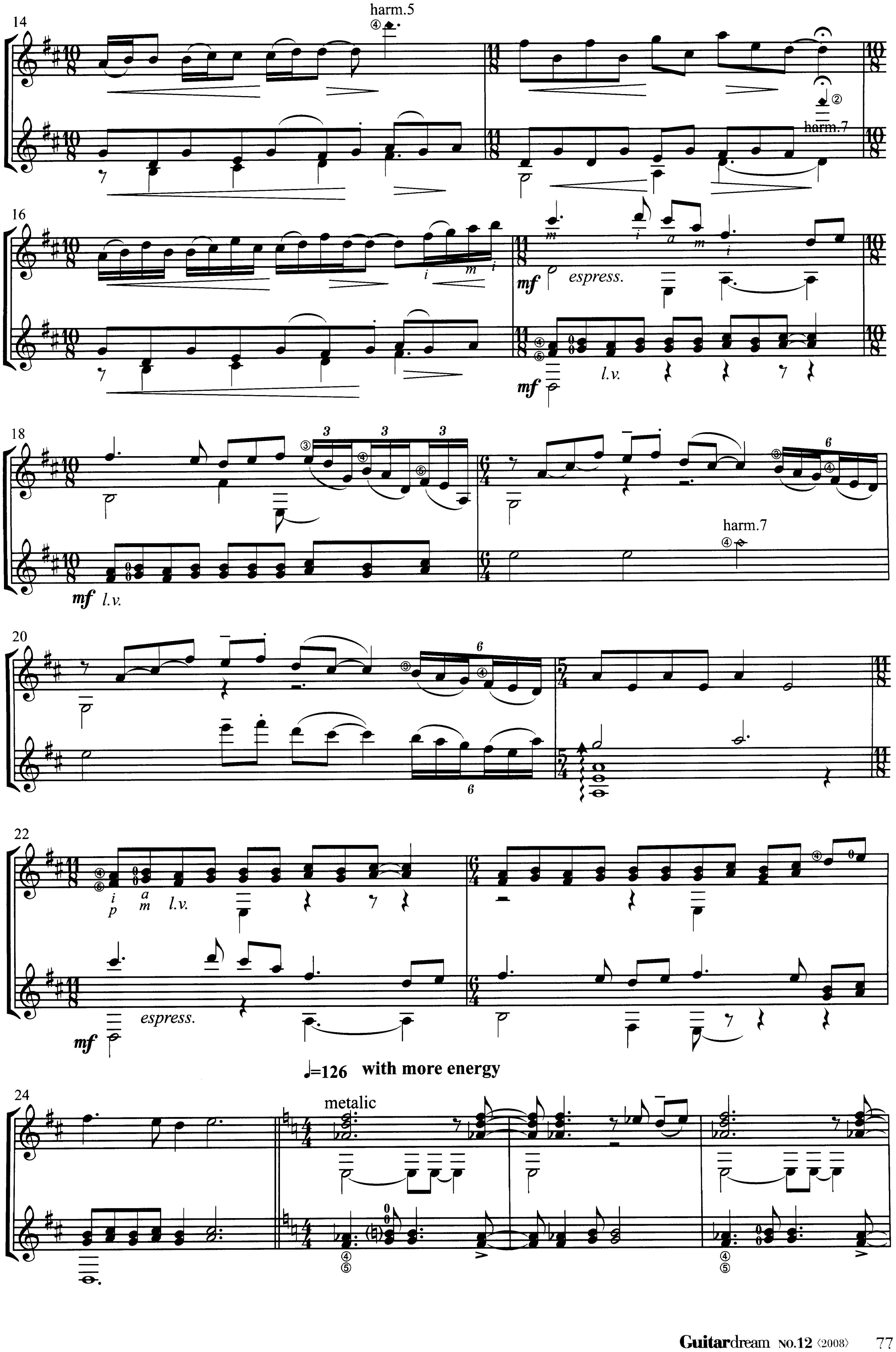
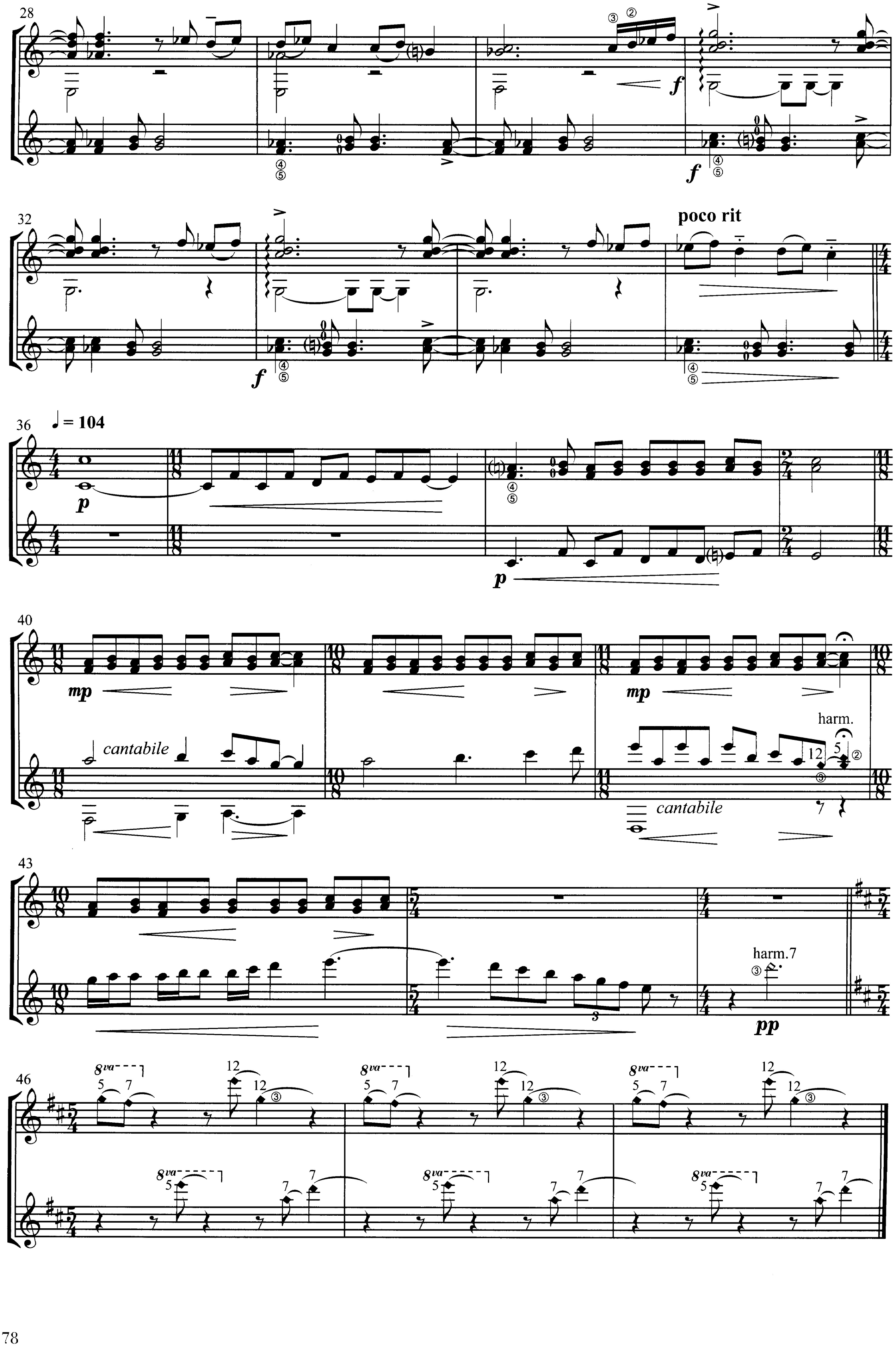
16 付録CD トラックNo.

for Yoshio Nomura

Early morning departure

from Getting Here for two guitars or guitar ensemble

早朝の旅立ち

Jason Robert Taylor
b.1975

© Copyright 2008 by HOMA dream Inc. Tokyo.
International Copyright Secured.
All Rights Reserved. Printed in Japan.

harm.5
harm.7
espress.
l.v.
harm.7
espress.
♩=126 with more energy
metalic

28
32
poco rit
36
♩ = 104
40
cantabile
harm.
cantabile
43
harm.7
46
8va

continued from the previous issue　前号の続き

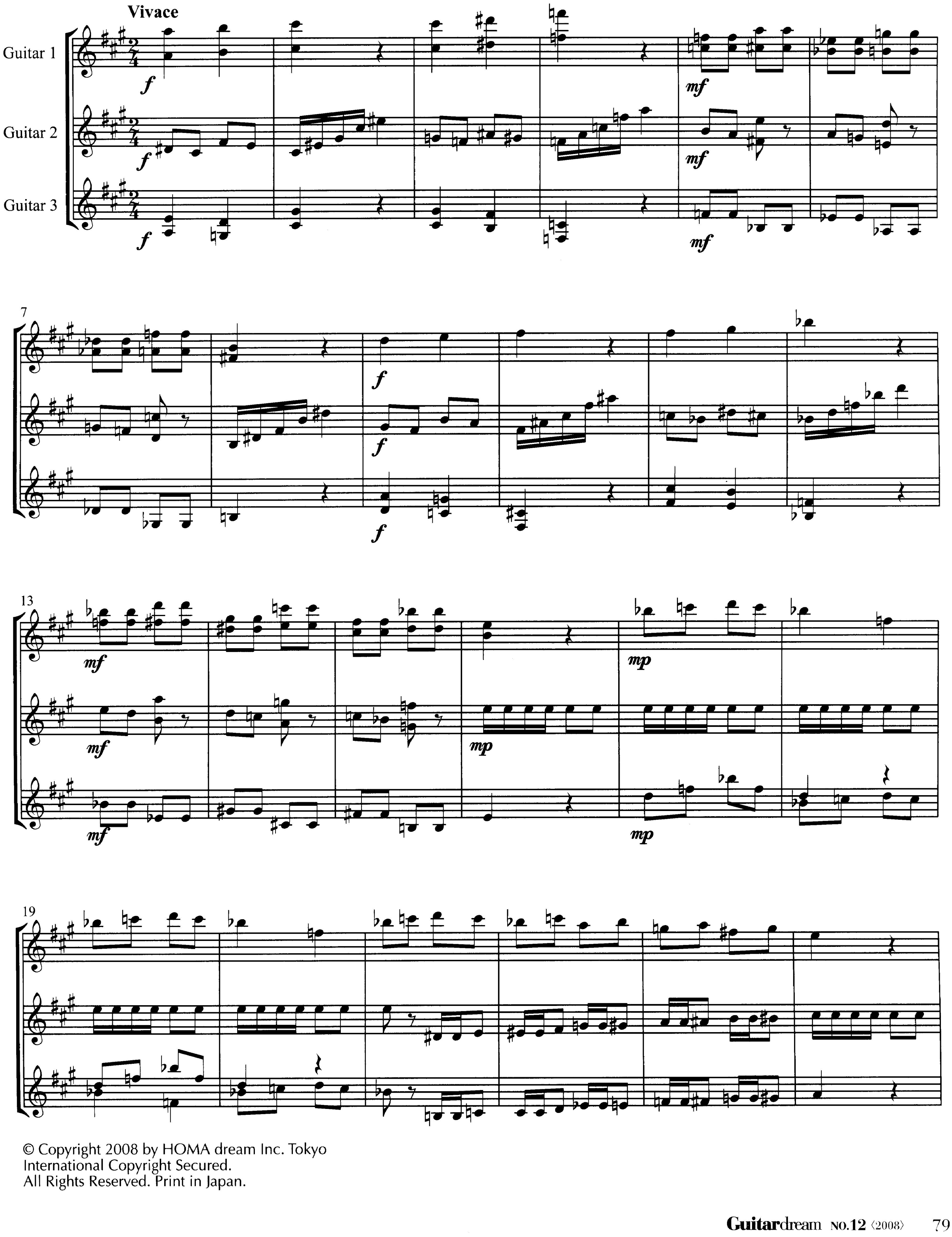
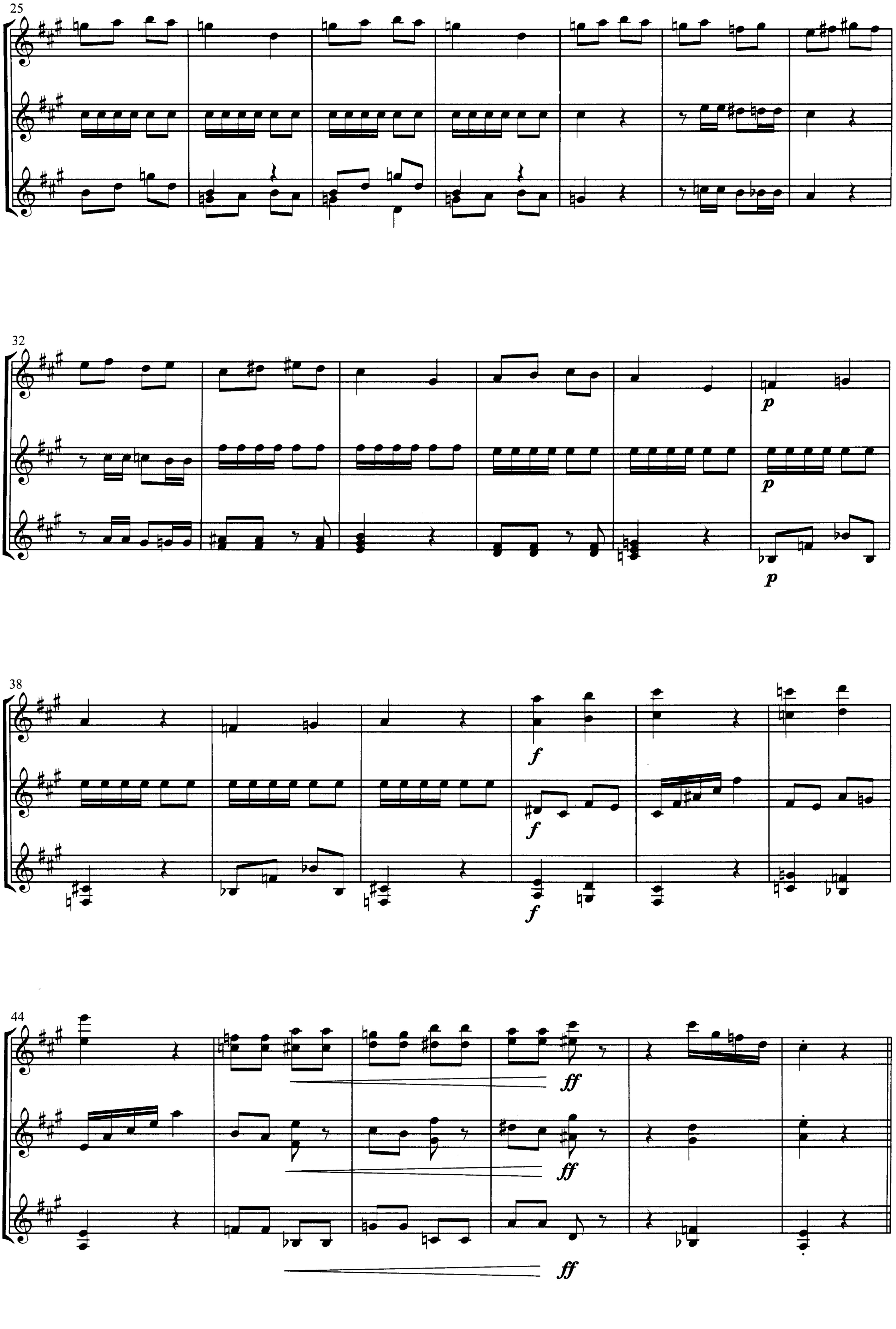
付録CD 13 トラックNo.

Variations sur chanson poplaire Français: Frere-Jacques

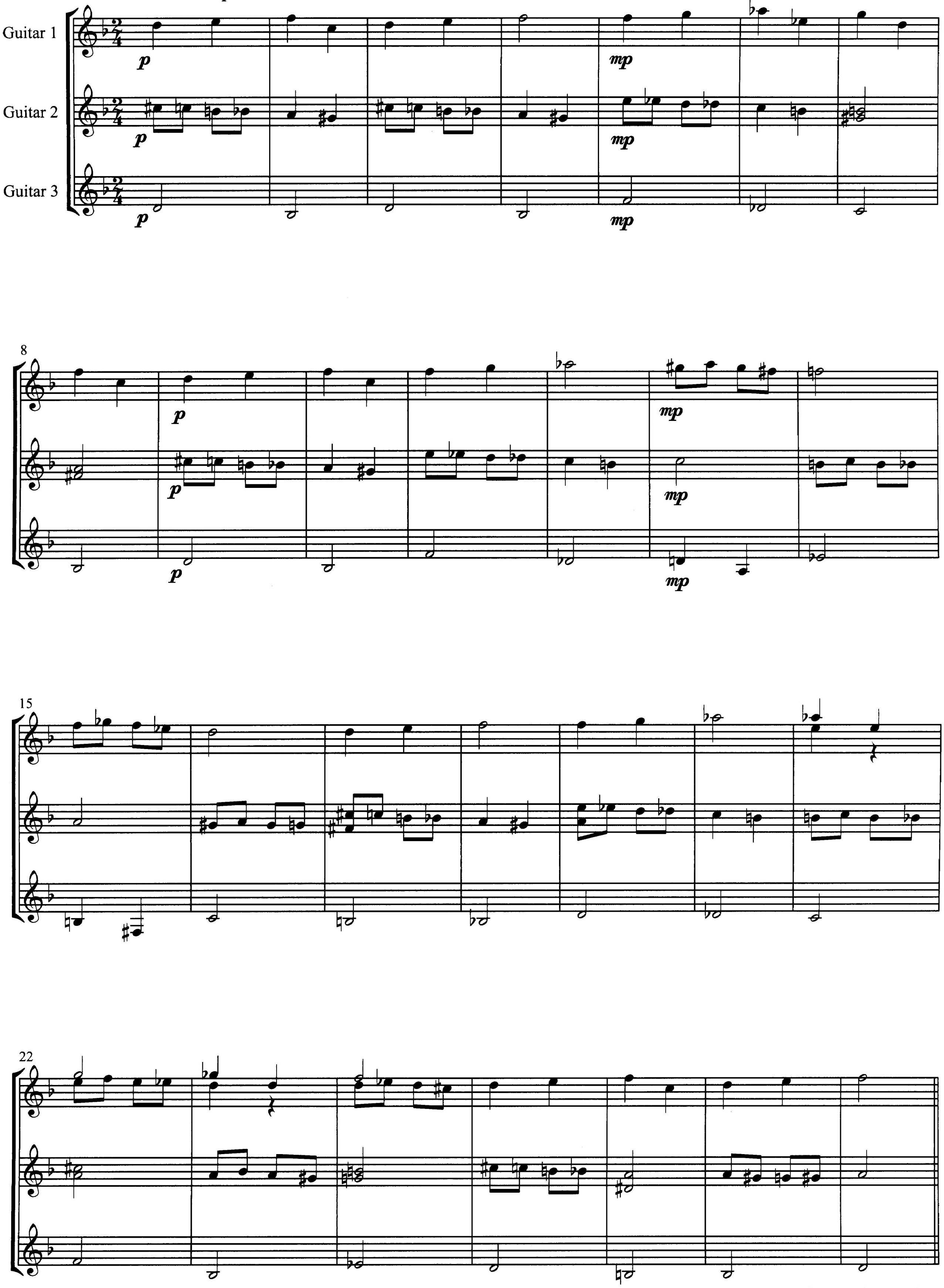
pour trois guitares

「フレール・ジャック」変奏曲

Jun-ichi Nihashi

Variation II

© Copyright 2008 by HOMA dream Inc. Tokyo
International Copyright Secured.
All Rights Reserved. Print in Japan.

25
32
38
44

Variation III

Moderato semplice

continue to the next issue
次号に続く

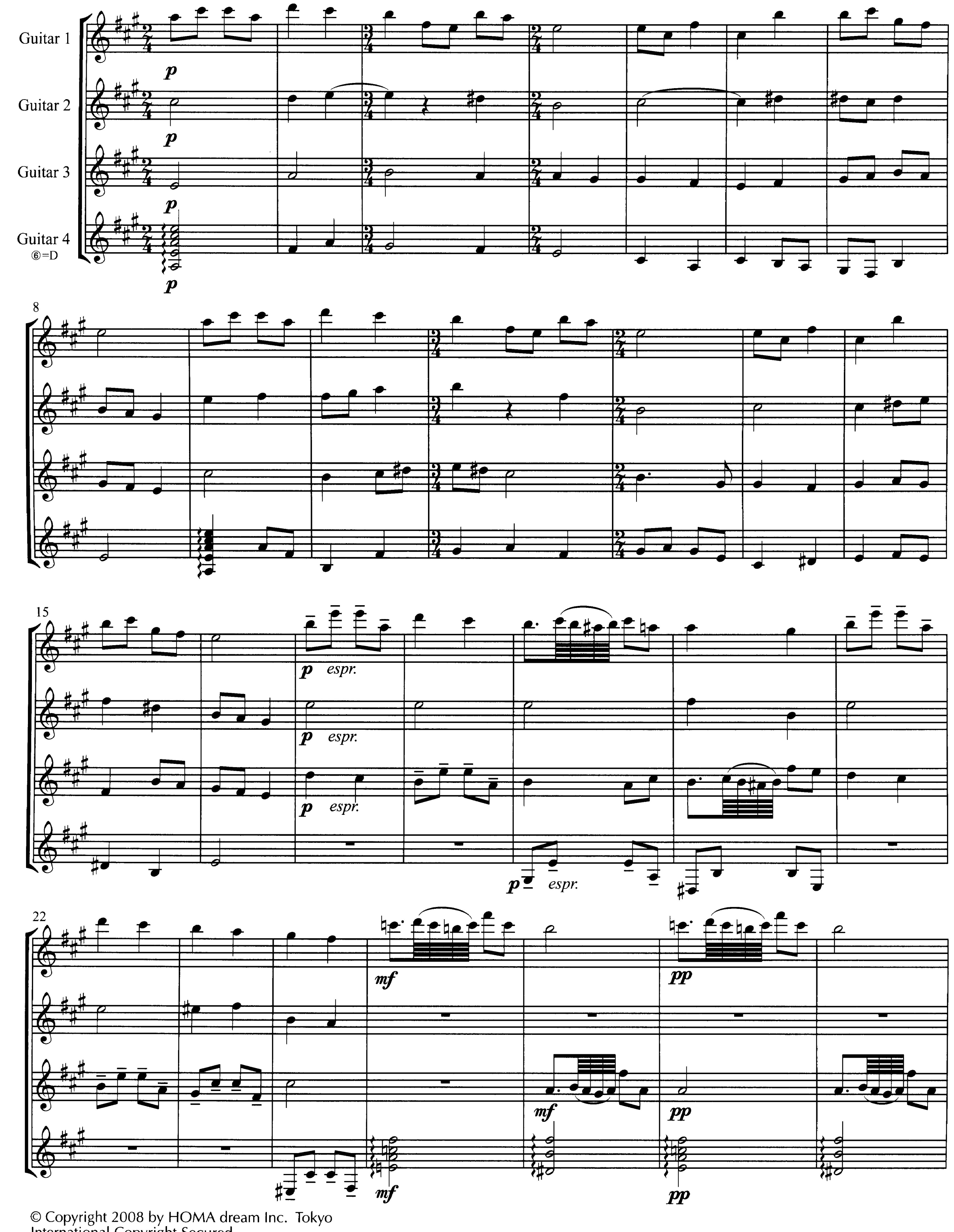
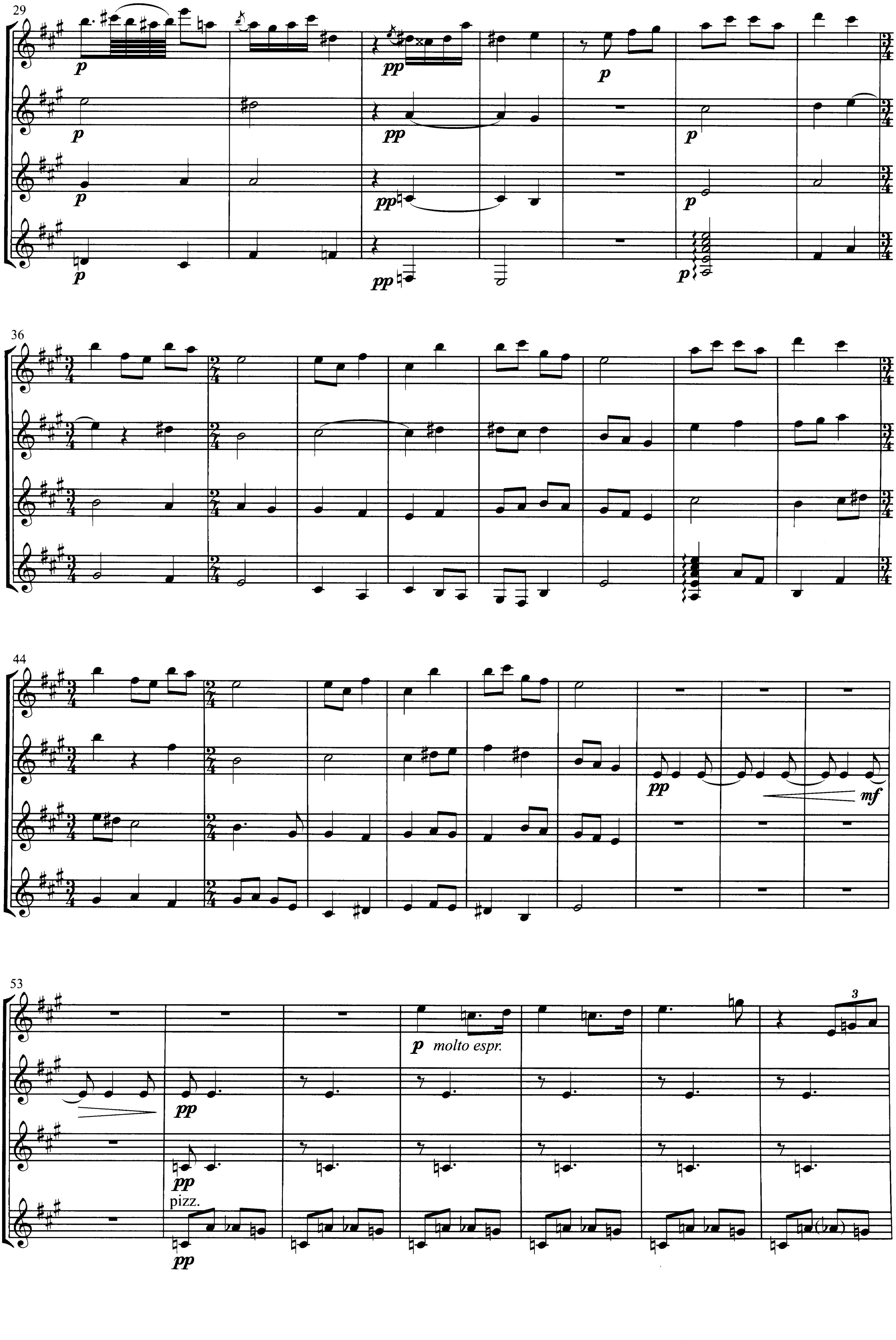
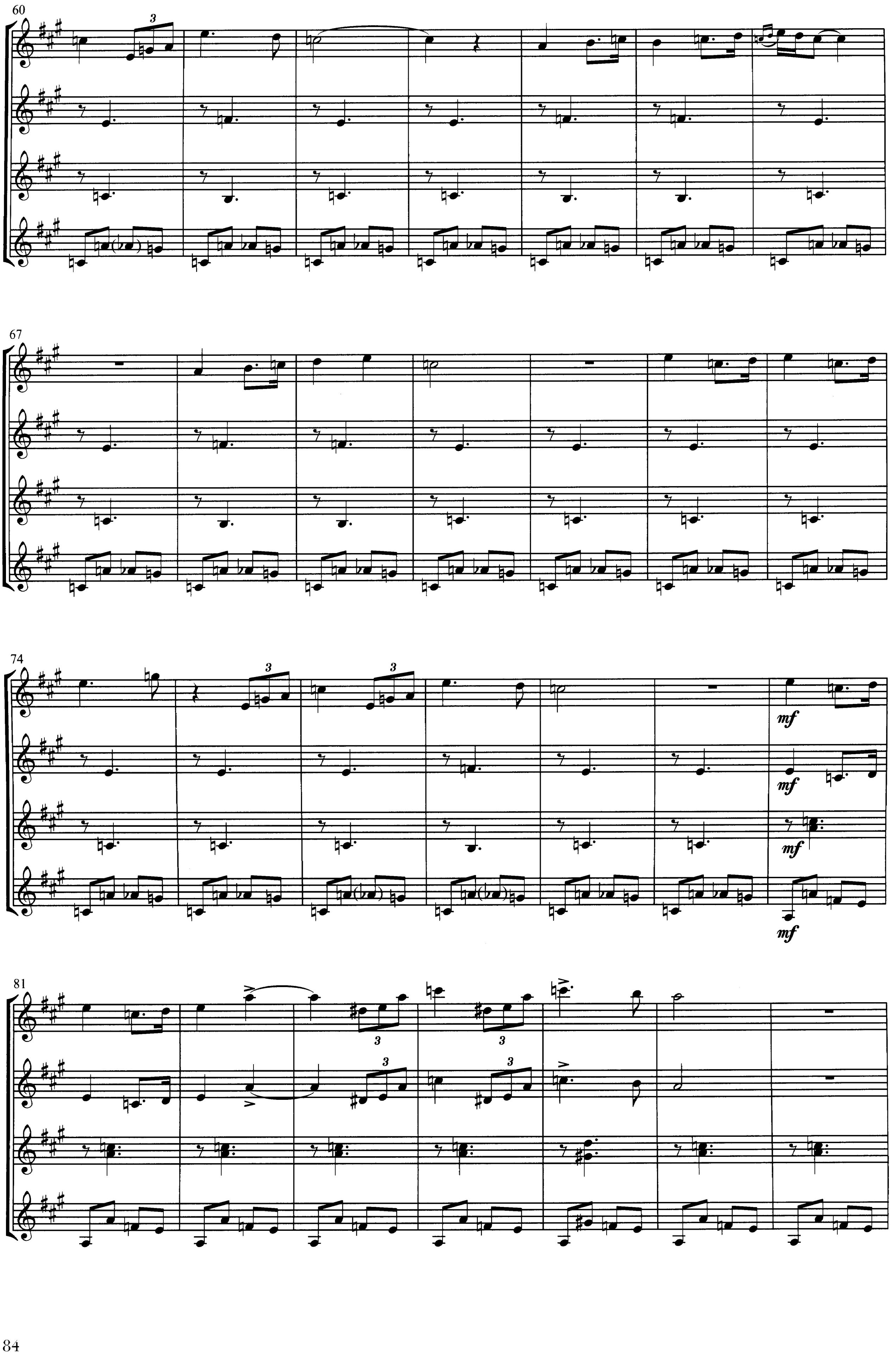
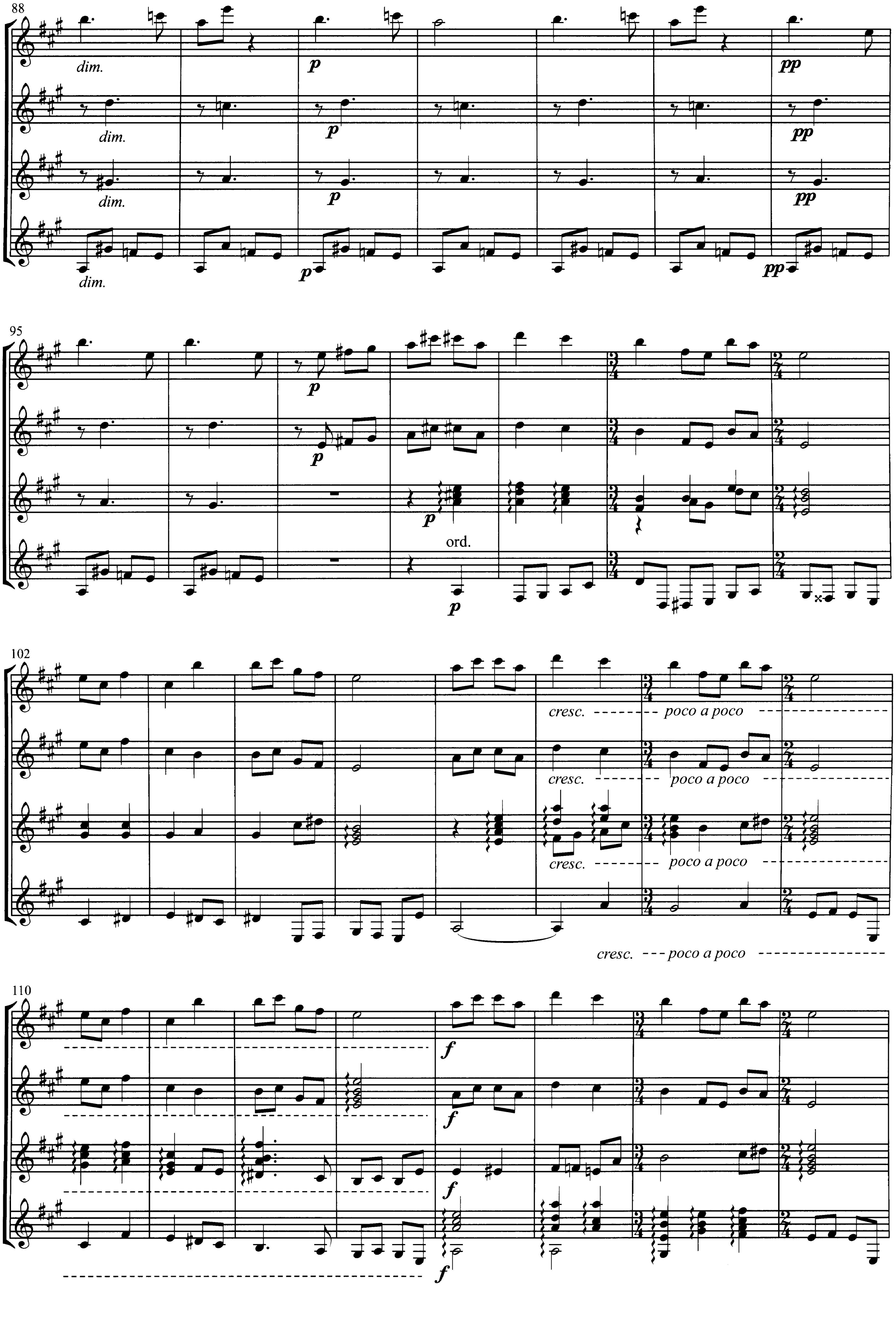
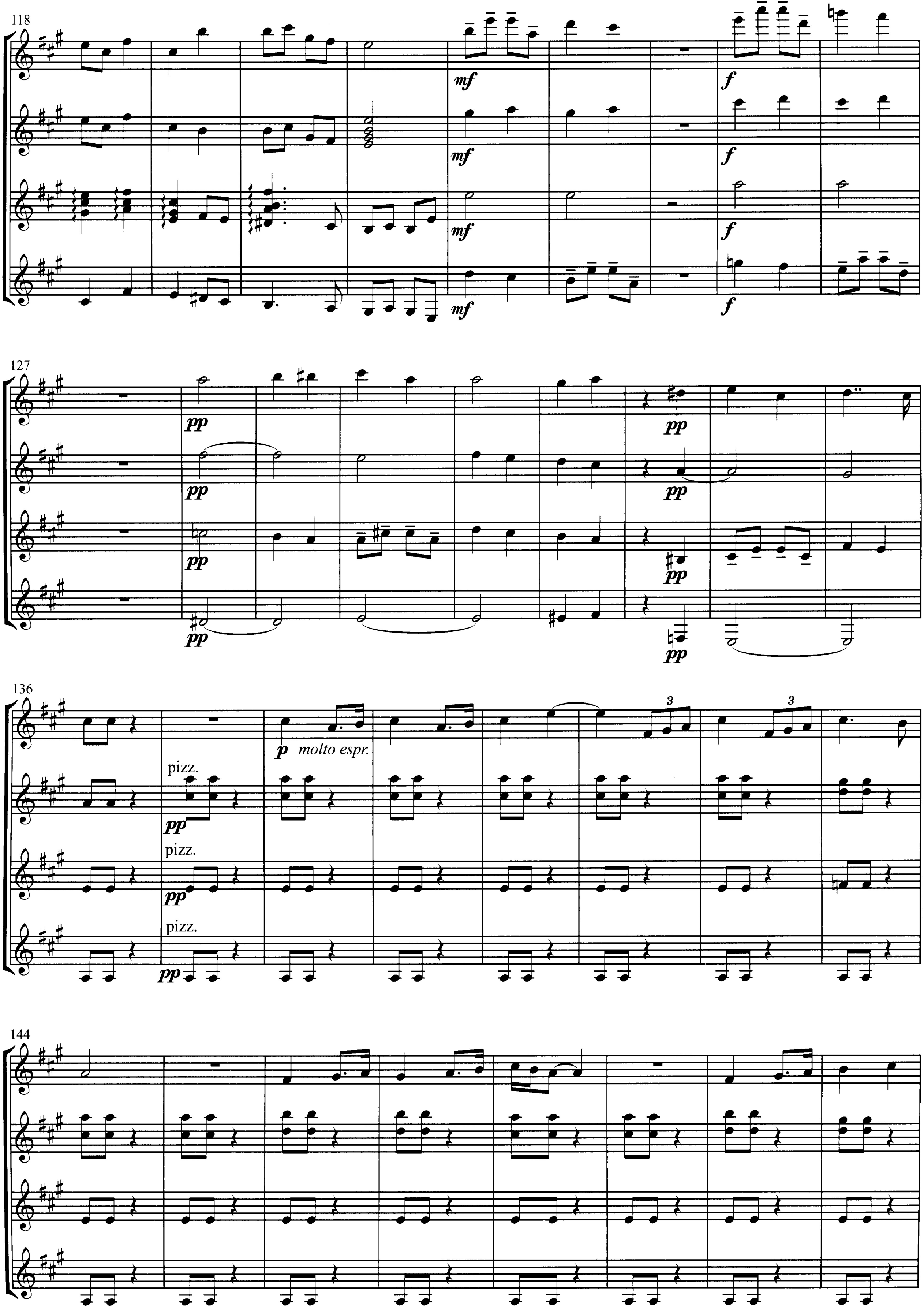
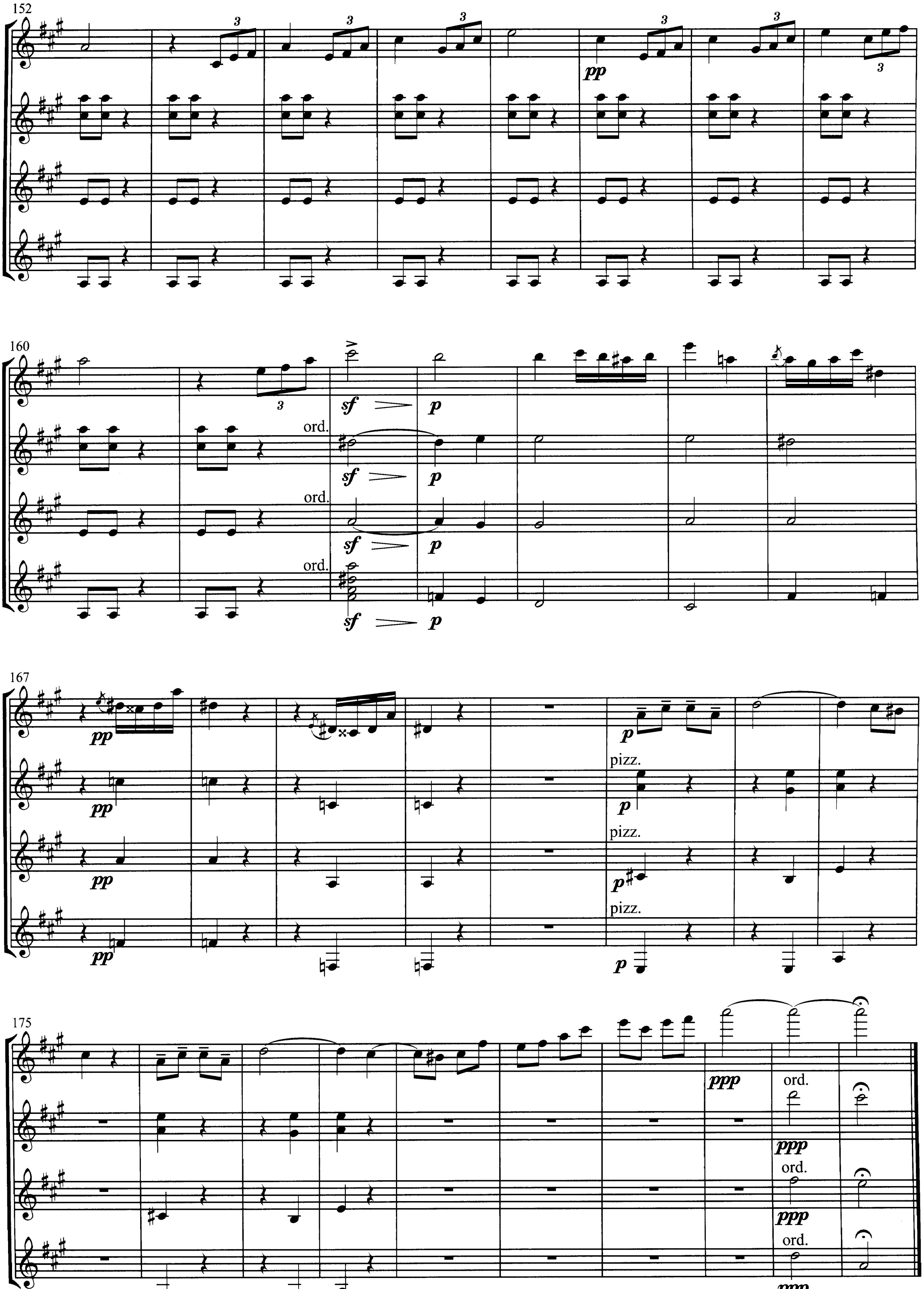
付録CD トラックNo. 14

Andante cantabile

from String Quartet no.1 op.11

Pyotr I. Tchaikovsky
1840-1893

Arranged for four guitars by Ippo Tsuboi

Andante cantabile

© Copyright 2008 by HOMA dream Inc. Tokyo
International Copyright Secured.
All Rights Reserved. Printed in Japan.

29
p
pp
36
44
pp
mf
53
p molto espr.
pp
pizz.
3

60
3
67
74
3
3
mf
mf
mf
mf
81
3
3

88
dim.
dim.
dim.
dim.
95
ord.
102
cresc. poco a poco
cresc. poco a poco
cresc. poco a poco
cresc. poco a poco
110

118
mf
f
127
pp
136
pizz.
p molto espr.
3
144

152
pp
160
sf
p
ord.
167
pp
pizz.
175
ppp

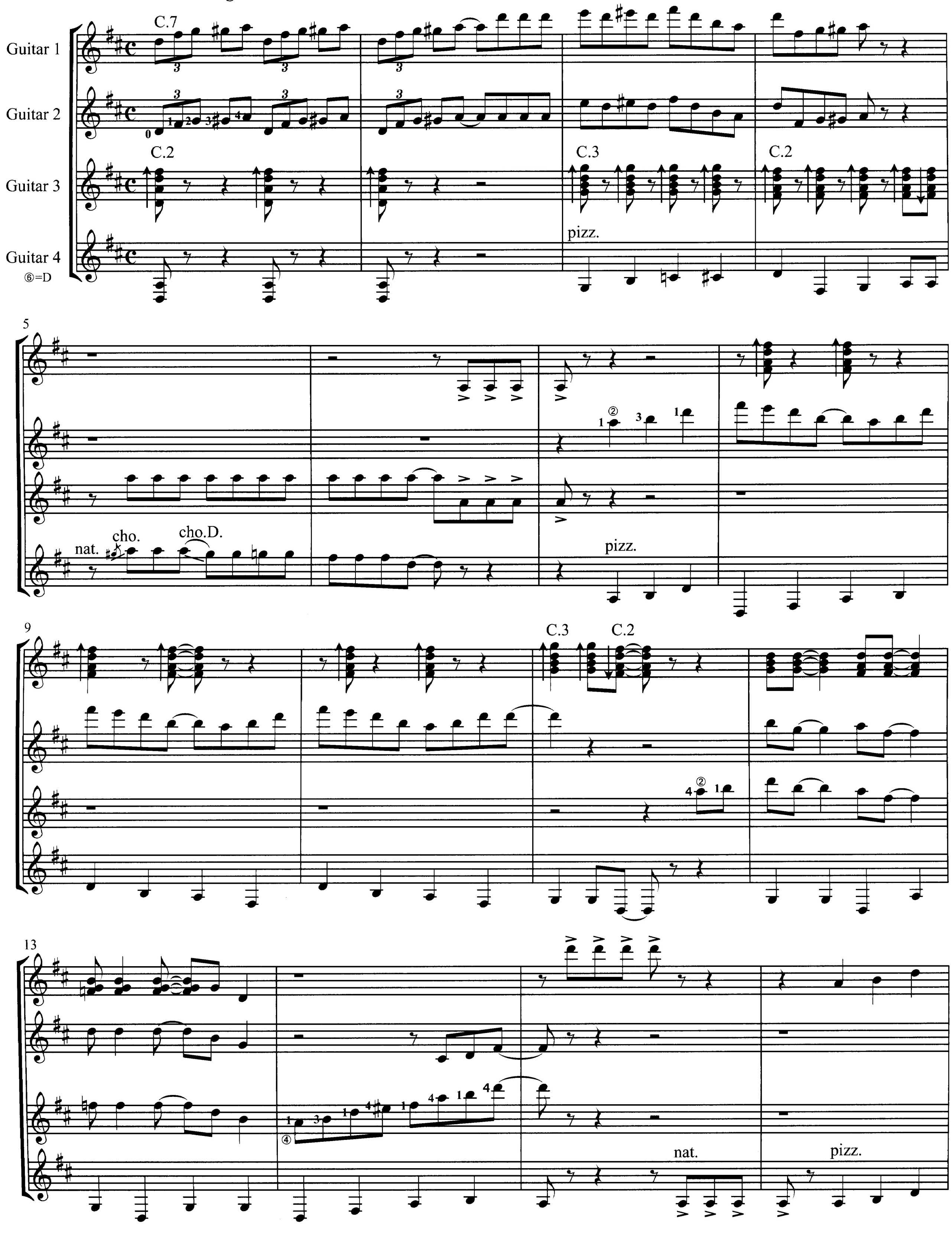
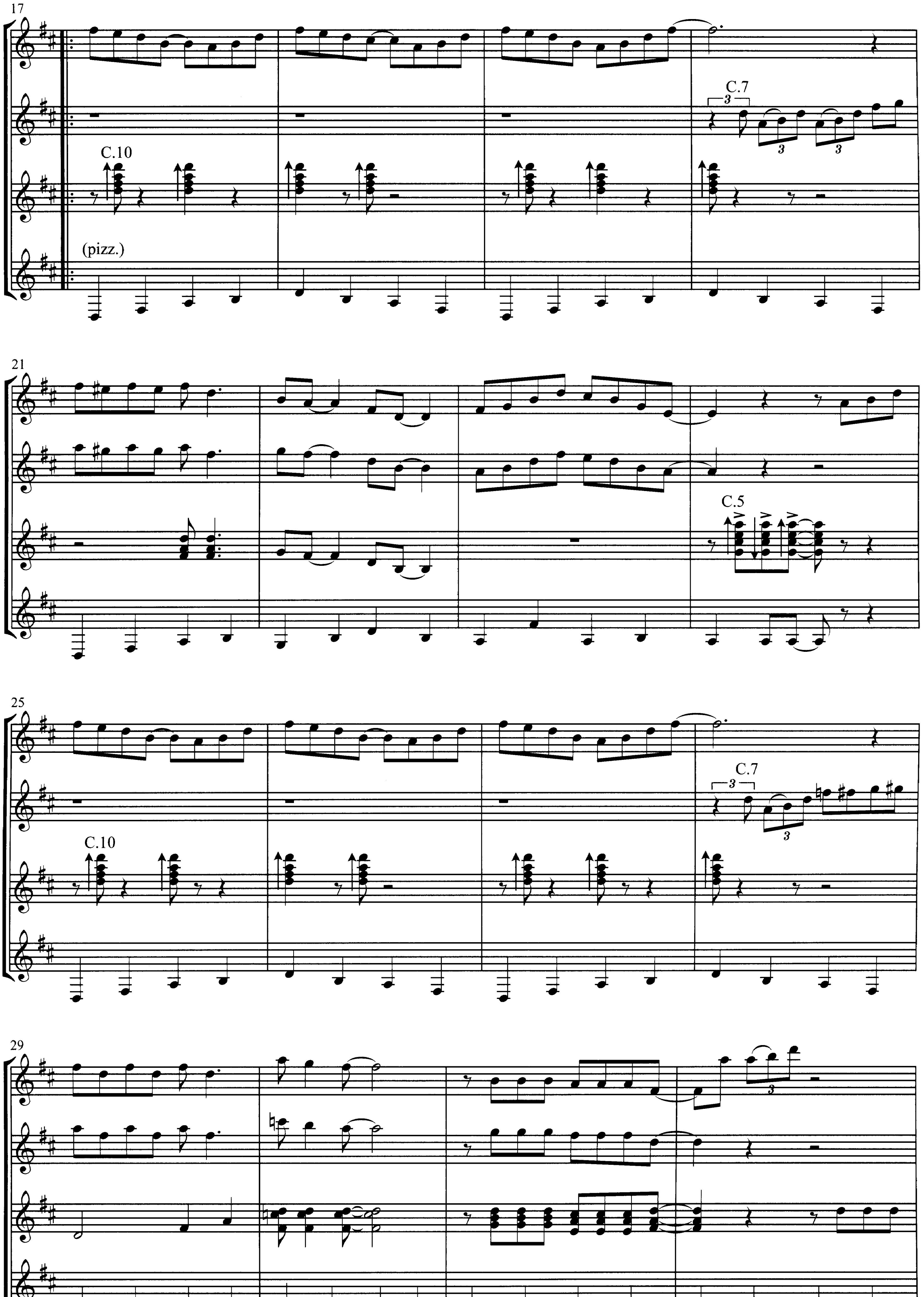
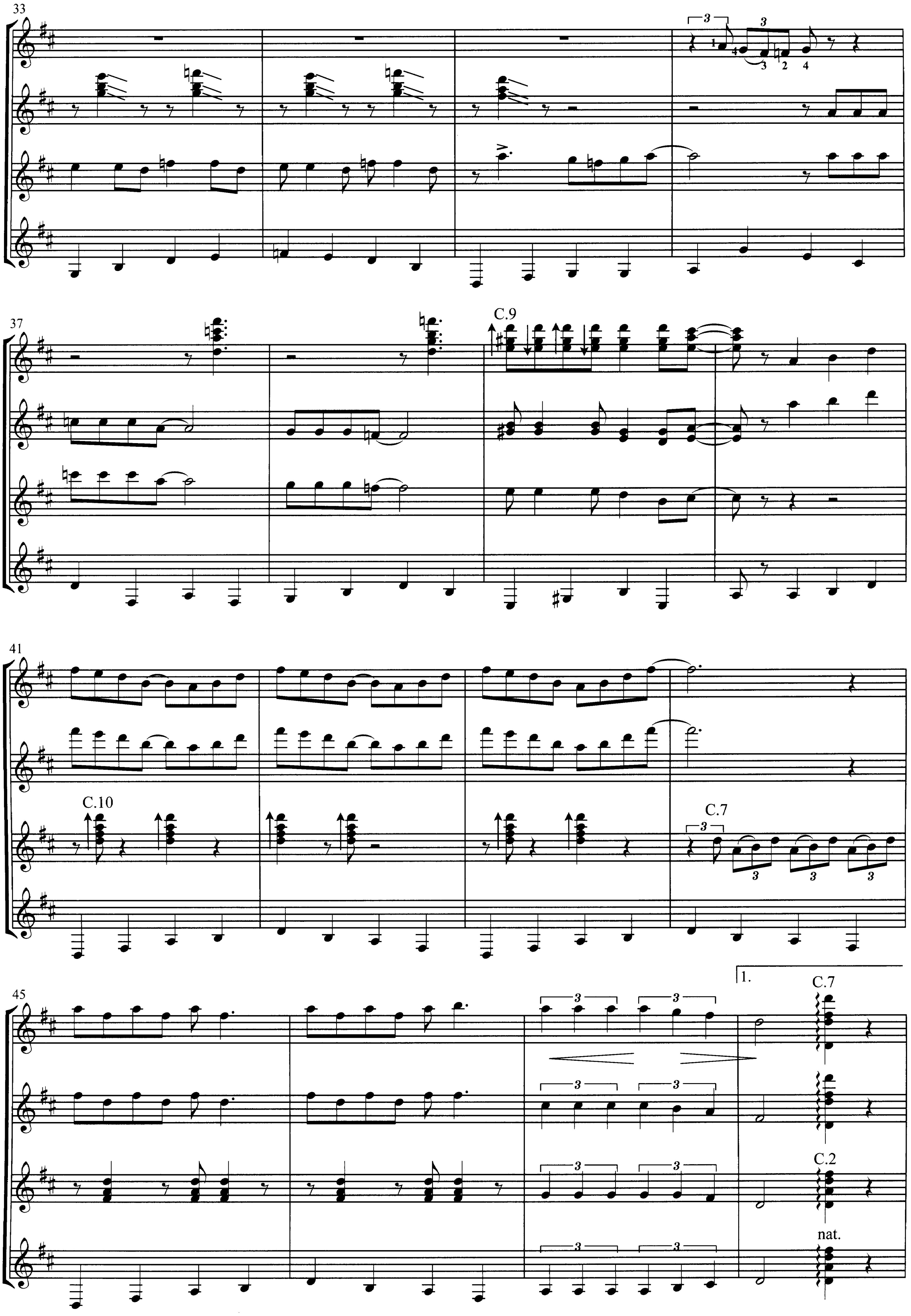
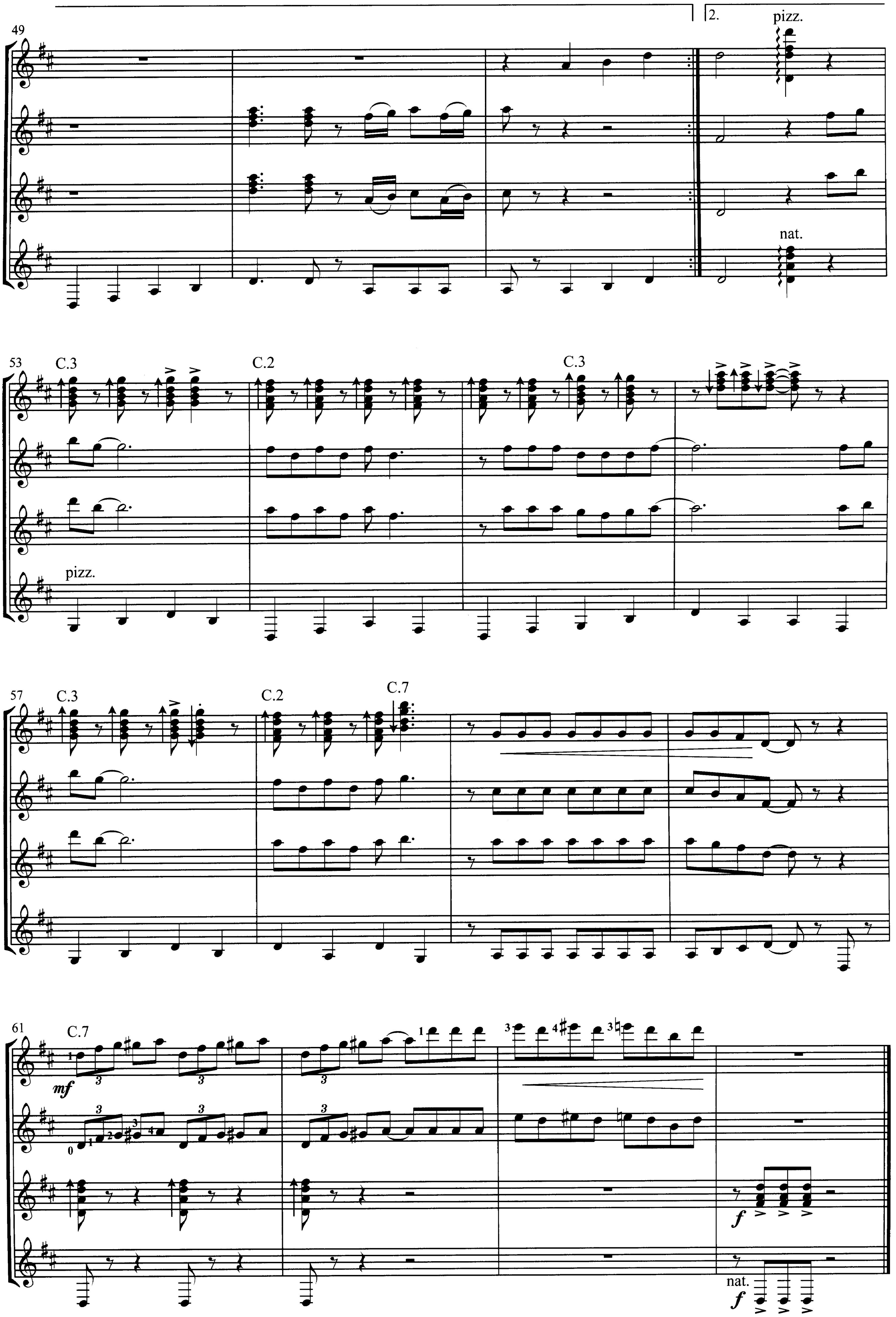
15 付録CD トラックNo.

Tokyo Boogie Woogie

東京ブギウギ

Ryoichi Hattori
1907-1993

Arranged for four guitars by Nobuyuki Hirakura

♩ = 140 **Swing**

17
C.10
C.7
(pizz.)
21
C.5
25
C.10
C.7
29

33
37
C.9
41
C.10
C.7
45
1.
C.7
C.2
nat.

49
2.
pizz.
nat.
53
C.3
C.2
C.3
pizz.
57
C.3
C.2
C.7
61
C.7
mf
f
nat.
f